

No.23 >>> Contents

●提携支援センターから

- 純国産絹を用いた「絹布団等絹製品」の開発と今後の展望
 ふじやまシルクプロジェクト 代表 柏木 秀基 ①
- 平成 23 年産蚕期別、都府県別繭生産数量の確定
 蚕糸・絹業提携支援センター 佐藤 良介 ⑤
- 平成 23 年度第 5 次分純国産絹マーク使用許諾状況
 社団法人 日本絹業協会 ⑦
- 提携支援センター活動日誌 No. 23 ⑩

●蚕糸・絹トピックス

- ジャパンシルクセンターにおける“純国産絹製品”のPR活動
 社団法人 日本絹業協会 ⑪

●今月の話題

- 「主要絹織物産地」平成 23 年の回顧
 社団法人 日本生糸問屋協会 ⑬

●国内情報

- シルク遺産を訪ねて③ グンゼ博物苑とグンゼ記念館
 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ⑭

●トピックス

- 国内産地情報、海外情報（中国）..... ⑮

●横浜開港とシルク貿易

- 港湾及び貨物輸送用鉄道の整備 .. シルク博物館 元部長 小泉 勝夫 ⑲

●イベント情報 ⑳

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 ㉑

●蚕糸関係博物館一覧 ㉒

●蚕糸関係団体ホームページ一覧 ㉓

●統計資料 ㉔

(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)

純国産絹を用いた 「絹布団等絹製品」の開発と今後の展望

ふじやまシルクプロジェクト
代表 柏木 秀基

シルクプロジェクト結成に向けて

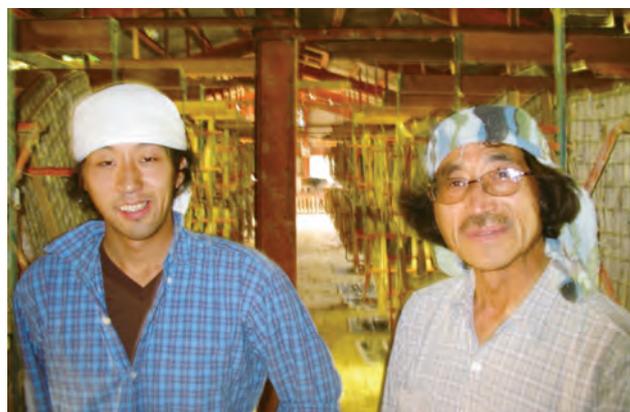
はじめに、山梨県の蚕糸業の歴史をざっと振り返ってみますと、かつては、甲府地域を中心に製糸業者がたくさんあり、県内の養蚕農家から繭を集めて製糸し、大手の製糸会社、糸商、商社に販売していました。昭和30年代に入り合織や化織が本格的に生産されるとともに、絹糸は減少して、甲府の製糸業者も段々と減少していき、現在は1軒も残っていません。

一方、県内の繭生産農家は、一昨年（平成22年）が33戸、23年の時点では28戸で、繭生産量7トン（割り込んだ）というのが最近の状況です。

このような状況のもと、ふじやまシルクプロジェクト結成のきっかけとなったのは、織物組合の会合で、「山梨の養蚕農家と織物業者が一体となって絹製品をつくり、販売まで出来ないか」という話が話題になり、元製糸業（株）さくらシルクの中澤豊氏に相談を持ちかけたのが事の発端です。

その結果、全農山梨県本部の三井さんに

繭の手配について度々指導を受けることになりました。その後、2年ほどかけて、桑畑、繭の生産現場等々を、当時、富士吉田織物組合の天野三吉氏とともに、ふじかわ農協、西八代農協を度々訪ねて会合を重ねました。



グループで主体的に頑張る芦沢さん父子

特に、西八代農協の五味先生には、お骨折りいただき、農家の取りまとめにご尽力いただきました。このレポートをまとめるにあたり、深く感謝申し上げます。

グループ結成当時の平成20年、県内養蚕農家の平均年齢は74歳で、後継者はほとんど無しとの報告を受け、愕然としたことを思い出します。

このような状況下で、本当に製品化できるのだろうかと不安に成りましたが、ふじかわ農協の野田さんから、芦沢定弘さんの息子さんが、農家の跡継ぎになると聞き、大変力強く感じ、連携しようと決意するに至りました。

これらの農家の内、ふじやまシルクプロジェクトに所属する農家は、西八代農協で5戸、ふじかわ農協6戸、甲府農協1戸の12戸で、この繭のことは、以前、県の農業試験場におられた真浦さんにご指導いただきました。真浦さんは、繭の専門家で農家との繋がりもあり、協議の結果、繭の品種としては、春嶺×鐘月、錦秋×鐘和の2種類を生産することとしました。

次は、製糸所をどこにするかですが、先程の中澤さん、三井さんの骨折りで、長野県下諏訪町の松澤製糸所をお願いすることとし、同様に天野さんの助言により、製織は有限会社カシワギ、小泉織物、(株)オヤマダで、縫製については高野縫製所でスカートから小物類、シャツ、スカート、ブラウス、布団まで一手に製品化する構想といたしました。



プロジェクト構成員の見事な桑園

そして最終の、製品販売については(株)JS(ジャパン・シルク)が提携する百貨店で店舗展開し、消費者に販売するという体制を作り上げました。

さて、ふじやまグループの原点ともいえる養蚕業が営まれている地域はどのようなところか見てみましょう。



使い心地抜群のシルク布団

山梨県富士川町は、富士山の西側、青木ヶ原、西湖、精進湖、本栖湖と続く国立公園、そこから富士川までの間に、桑畑が広がっています。富士山の周りには、大きな川はありません。ほとんどの水は地下に入り、岩盤に浸みこんで浄化され、地上に出るまでに、10年いや場合によっては100年もかかるといわれております。

この水の清らかさ、空気の清々しさ、このような風光明媚な地帯一面に桑畑が広がっているのです。

この桑を使い養蚕農家が丹精を込めて作り上げた繭、この繭を材料に製造した安心、

安全そして清らかな絹製品は、絹の宝物といっても言い過ぎではないと思えるほどです。この日本の大自然の恵みを一人でも多くのお客様、日本中、いや世界中のまだ日本の絹を知らない人に届けてさしあげたい、という思いで一杯なのです。

かい きうすぎぬふとんと えは た え
甲斐絹薄絹布団十重二十重

ここで、当グループのメインの絹製品があります、甲斐絹薄絹布団十重二十重を紹介させていただきます。

山梨産地は、ご存じのとおり江戸時代からの寝具の産地で、勿論、昔は絹しかありませんから、絹布団では日本で有数の産地でした。弊社も明見村に居を構えて350年、代々織物業を営んできました。大明見は江戸時代に当時の代官、秋元但馬守によって殖産事業による養蚕、蚕糸絹織物を製造するための天領として作られました。ですから、明見の機屋さんは、どこも350年以上の機屋です。その代表的な製品が甲斐絹薄絹布団十重二十重なのです。

山梨の絹の素晴らしさは、今も昔も変わることはありません。

その布団の特徴は、埃が出ないこと、なぜならば、棉を一本も使っていないためです。棉の代わりに、薄い絹の生地を幾重にも折り重ねているのです。

埃を出さないために、唯一、絹生地を棉の代わりに使っている布団です。

安心、安全、清らかさを追い求めた結果、生まれた弊社独自の絹製品であります。



今後の展開が期待されるシルクストール

是非、見て、触れて、匂いを感じ取ってみてください。

実際に寝てみると分かる不思議な寝心地、暖かく、清らかな、深い眠り、貴方だけの至宝の世界を堪能してみてください。

純国産絹製品の更なる拡大へ

当ふじやまシルクプロジェクトの今後の展望ですが、安心、安全、清らかな絹布団だけでなく、この純国産絹製品を生活関連製品（従来から生産しているスカーフ、ネクタイ、洋装品全般（シャツ、ブラウス、スカート、コート等））にまで展開、拡大する段階に入ってきました。

ただ課題として気になるのは、今後、養蚕農家の高齢化がますます進み、世代交代がスムーズに行えるかどうかという点です。目下の一番の心配事です。

しかしながら、新品種の繭、超極細繊維、遺伝子組換え蚕による生糸・絹、ミクロ化した繊維の応用等純国産絹に寄せる夢もま

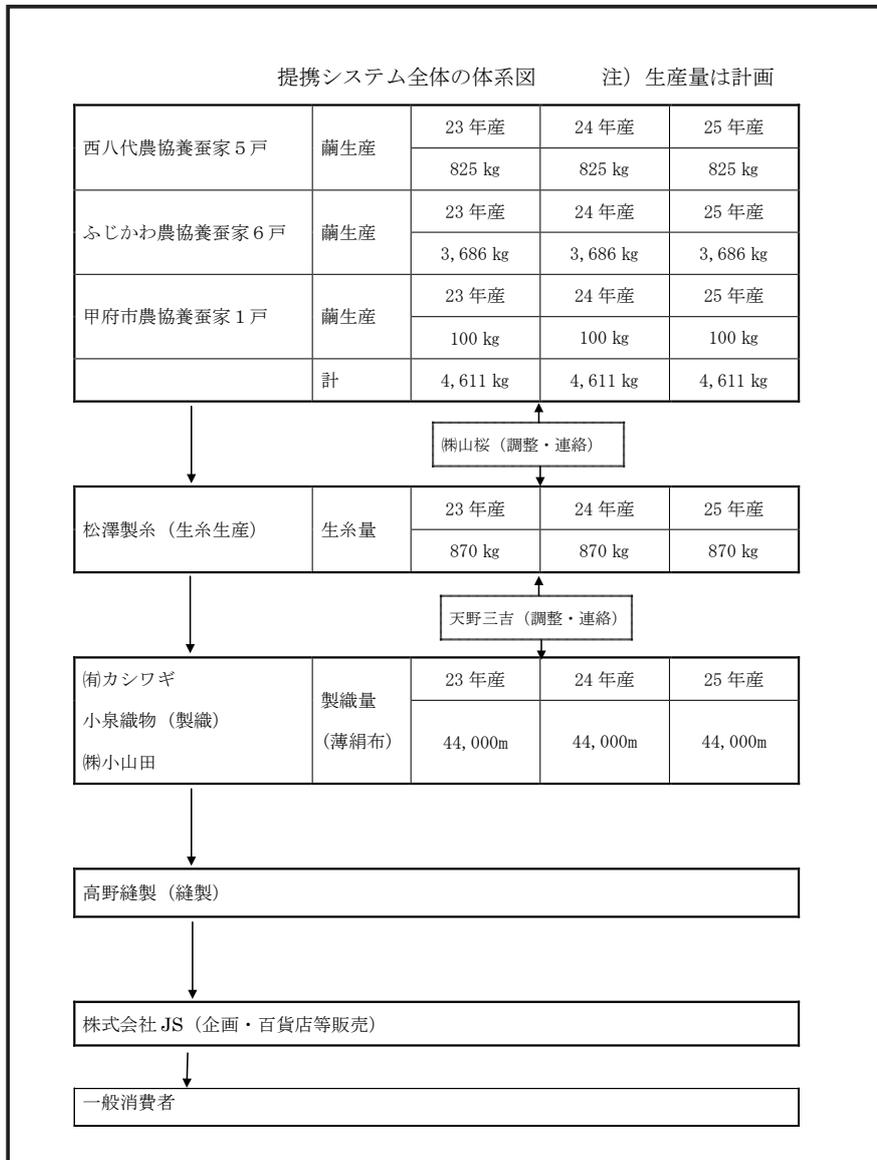
た限りなく広がっております。

今後とも、養蚕農家を初めシルクプロジェクトの構成員全員が益々発展していけるように。そして何よりも、絹の愛好家の方々に本物の日本の絹を提供していきたいとの思いのもと、日夜努力を重ねてまいる所存であります。



純国産絹製品のフェアー

“頑張ろう日本の絹、
頑張ろう純国産絹製品 “



平成 23 年産蚕期別、都府県別繭生産数量の確定

蚕糸・絹業提携支援センター
佐藤 良介

平成 23 年産の蚕期別、都府県別繭生産数量が確定しましたので報告します。

<蚕期別の概況（平成 23 年度）>

	繭生産数量	対前年比
春蚕期	95,040.5kg	88.7%
初秋蚕期	48,778.9kg	81.7%
晩秋蚕期	76,093.0kg	77.8%
合計	219,912.4kg	83.1%

なお、この中には前年度まで集計されていない種繭の生産数量約 1,700kg、その他繭クラフト用の繭等が含まれておりますので、その点を考慮すると生産数量及び対前年比は多少低くなるものと思われまので、その点お含みおき下さい。

<減少の理由>

繭生産数量の減少理由としては、①養蚕農家の高齢化、②特に夏季における猛暑、③蚕の病気（埼玉県で膿病、栃木県で軟化病、福島県で硬化病の発生等）がその主な理由と思われま。

特に心配していた東日本大震災及び福島第一原発の影響については、福島県で 9 戸

の養蚕農家が休止、宮城県でもいくつかの養蚕農家が休止に追い込まれたという話がありましたが、農家の努力もあり、当初より減産量が小さかったとの報告を受けています。

また、平成 22 年度で農家に直接支払う繭代補てん事業が終了し、その影響が平成 23 年度に出るのではないかと心配しておりましたが、逆に繭生産数量が増加している県もあるなど、影響はほとんどないものと思われま。

<ここ数年間の傾向>

最近の 5 年間の繭生産数量の動向について見ますと以下ようになります。

	繭生産数量	対前年比
平成 19 年度	433t	85.7%
平成 20 年度	380t	87.8%
平成 21 年度	327t	86.1%
平成 22 年度	265t	81.0%
平成 23 年度	220t	83.0%

上記のように、なお減少傾向が続いておりますが、来年度はこの減産に歯止めがかかることを期待します。

平成23年度蚕期別、都府県別繭生産量
Cocoon production by prefectures in 2011.

(単位：kg、%) 平成24年1月24日現在

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比
青森県	-	-	-	137.4	156.3	113.8%	144.7	119.3	82.4%	282.1	275.6	97.7%
岩手県	2,017.6	1,977.5	98.0%	2,783.7	2,318.9	83.3%	3,049.7	2,474.2	81.1%	7,851.0	6,770.6	86.2%
宮城県	2,755.5	2,127.1	77.2%	2,335.9	2,341.8	100.3%	3,046.5	2,248.6	73.8%	8,137.9	6,717.5	82.5%
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	1,649.3	1,315.2	79.7%	761.7	767.4	100.7%	1,254.4	1,638.3	130.6%	3,665.4	3,720.9	101.5%
福島県	12,488.4	11,519.5	92.2%	11,946.4	8,972.5	75.1%	16,645.2	13,617.0	81.8%	41,080.0	34,109.0	83.0%
茨城県	3,672.0	4,486.0	122.2%	2,653.6	2,323.2	87.5%	3,181.4	3,028.4	95.2%	9,507.0	9,837.6	103.5%
栃木県	12,003.5	11,488.4	95.7%	4,465.3	5,259.7	117.8%	14,350.8	9,370.2	65.3%	30,819.6	26,118.3	84.7%
群馬県	49,138.1	42,178.0	85.8%	23,357.1	18,729.3	80.2%	38,871.7	29,121.1	74.9%	111,366.9	90,028.4	80.8%
埼玉県	9,018.9	7,692.5	85.3%	4,968.6	3,308.7	66.6%	6,903.5	6,061.7	87.8%	20,891.0	17,062.9	81.7%
千葉県	1,263.6	1,168.6	92.5%	671.7	569.4	84.8%	1,310.9	1,113.4	84.9%	3,246.2	2,851.4	87.8%
東京都	543.1	386.0	71.1%	-	-	-	342.3	163.3	47.7%	885.4	549.3	62.0%
神奈川県	884.8	-	-	584.8	-	-	637.9	-	-	2,107.5	-	-
山梨県	3,851.7	3,665.7	95.2%	1,170.0	805.7	68.9%	2,508.8	2,233.2	89.0%	7,530.5	6,704.6	89.0%
長野県	3,016.2	2,714.3	90.0%	2,212.9	1,765.0	79.8%	2,533.0	2,439.2	96.3%	7,762.1	6,918.5	89.1%
新潟県	-	186.4	-	46.6	54.3	116.5%	51.9	-	-	98.5	240.7	244.4%
福井県	-	62.4	-	-	21.2	-	-	23.0	-	-	106.6	-
岐阜県	1,351.3	1,086.0	80.4%	232.8	-	-	687.4	614.1	89.3%	2,271.5	1,700.1	74.8%
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	120.9	64.1	53.0%	-	-	-	-	-	-	120.9	64.1	53.0%
兵庫県	83.5	42.0	50.3%	80.0	35.0	43.8%	66.0	-	-	229.5	77.0	33.6%
京都府	102.4	111.4	108.8%	97.5	-	-	40.6	93.3	229.8%	240.5	204.7	85.1%
愛媛県	2,172.3	1,991.7	91.7%	1,183.1	1,350.5	114.1%	1,671.9	1,482.3	88.7%	5,027.3	4,824.5	96.0%
高知県	280.4	228.4	81.5%	-	-	-	128.1	86.7	67.7%	408.5	315.1	77.1%
熊本県	543.4	431.9	79.5%	-	-	-	271.6	91.8	33.8%	815.0	523.7	64.3%
宮崎県	136.6	115.9	84.8%	-	-	-	62.7	67.3	107.3%	199.3	183.2	91.9%
鹿児島県	-	1.5	-	-	-	-	-	6.6	-	-	8.1	-
全国計	107,093.5	95,040.5	88.7%	59,689.1	48,778.9	81.7%	97,761.0	76,093.0	77.8%	264,543.6	219,912.4	83.1%

資料：(財)大日本蚕糸会調査

平成 23 年度第 5 次分純国産絹マーク使用許諾状況

—新規製品 6 品目、追加 1 品目に使用許諾—

社団法人 日本絹業協会

純国産絹マークの平成 23 年度第 5 回審査会を 12 月 12 日に開催し、今回、12 者（うち、新規使用許諾申請が 2 者で新規製品が 6 品目、使用許諾されている者の製品の追加が 1 品目、製品の変更・生産履歴の追加が 1 品目、生産履歴・生産数量の追加が 1 品目、生産数量の追加が 17 品目）から申請があり、審査した結果 12 者に対し、12 月 19 日付けで純国産絹マークの使用許諾をいたしました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
那覇伝統織物事業協同組合 代表者名：安座間美佐子 (担当者：作田艶子) 沖縄県那覇市首里桃原町 2-64 Tel 098-887-2746 表示者登録番号 156	先染反物 先染帯地 かりゆしウエア ショール	30反 100本 30枚 100枚	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 染 織 自組合
株式会社ふじや 代表者名：大庭廣信 (担当者：大庭廣信) 福岡県朝倉市甘木 944 Tel 0946-22-2358 表示者登録番号 157	後染反物 (小紋) (変一越) (紋意匠)	10反 10反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 南久ちりめん(株)・芝井(株) 染 色 高田勝(株)
(製品の追加) 株式会社やまと 代表者名：田村裕二 (担当者：長野英幸) 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-3 Tel 03-3356-7171 表示者登録番号 059	帯地(金銀糸 5% を超えるもの)	80本	繭生産 JA たむら・JA すかがわ岩瀬 管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 撚 糸 (株)深田商店 染 色 (株)今江染色 製 織 (有)織匠小平
(製品の変更・履歴の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 (担当者：土井芳文) Tel 027-361-2377 表示者登録番号 021	ふくさ	72枚	制作企画 絹小沢(株) 蚕品種 上州絹星・ぐんま 200 繭生産 群馬県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株)ワタマサ・(株)カブト 縫 製 岡田清美
(履歴の追加) 株式会社榎屋高尾 代表者名：高尾弘 (担当者：高尾朱子) 京都市北区北野西白梅町 77 Tel 075-464-0500 表示者登録番号 038	帯地(袋帯)	180本	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 撚 糸 昭和撚糸工業(株) 染 色 (株)寺川染工場 製 織 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
(生産数量の追加) 株式会社さが美 代表者名：小野山晴夫 横浜市港南区下永谷 6-2-11 (担当者：青木祐介) Tel. 045-820-6016 表示者登録番号 031	後染反物 (黒紋付) (変三越) (五越駒組)	150反 150反	繭生産 製糸 製織 染色	JA たむら・JA すかがわ岩瀬 管内養蚕農家 松岡(株) (有)両輪産業・小熊機業(有) (株)橘一
(生産数量の追加) 田中種株式会社 代表者名：田中隆 大阪市中央区南本町 2-1-8 (担当者：住本文男) Tel. 06-6261-2091 表示者登録番号 060	後染反物 (小紋) (変一越)	20反	繭生産 製糸 製織 染色	JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 南久ちりめん(株) 高田勝(株)
(生産数量の追加) 株式会社登美屋 代表者名：高橋祥元 (担当者：高橋祥元) 岩手県北上市上江釣子 18-14-1 Tel. 0197-77-2121 表示者登録番号 084	胴裏絹 (パールトーン 加工)	550枚	制作企画 繭生産 製糸 製織 精練 加工	日本蚕糸絹業開発協同組合 群馬県内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株)カブト (有)江島屋染工場 (株)パールトーン
(生産数量の追加) 株式会社川平屋 代表者名：伊藤正人 (担当者：伊藤正人) 愛知県豊田市桜町 2-34 Tel. 0565-32-0902 表示者登録番号 085	胴裏絹 (パールトーン 加工)	120枚	制作企画 繭生産 製糸 製織 精練 加工	日本蚕糸絹業開発協同組合 群馬県内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株)カブト (有)江島屋染工場 (株)パールトーン
(生産数量の追加) 株式会社竹田嘉兵衛商店 代表者名：竹田浩己 (担当者：竹田浩己) 愛知県名古屋市中区有松 1802 Tel. 052-623-2511 表示者登録番号：126	胴裏絹 (酵素精練)	300枚	制作企画 繭生産 製糸 製織 精練	日本蚕糸絹業開発協同組合 群馬県内養蚕農家 碓氷製糸農協 (株)カブト (有)江島屋染工場
(生産数量の追加) 株式会社千總 代表者名：仲田 保司 (担当者：俵 武司) 京都市中京区三条通烏丸西入 Tel. 075-211-2531 表示者登録番号 001	後染反物 (訪問着・付下)	90枚	繭生産 製糸 製織 染色	岩手県南部養蚕農家 松岡(株) 加賀ゲンゼ(株) 自社
	後染反物 (訪問着)	120枚	繭生産 製糸 製織 染色	福島県・山形県養蚕農家 松岡(株) (株)匠 自社
	後染反物 (振袖)	30枚	繭生産 製糸 製織 染色	岩手県中部・南部養蚕農家 松岡(株) 美雲織物(株) 自社
	後染反物 (振袖)	30枚	繭生産 製糸 製織 染色	宮城県北部養蚕農家 松岡(株) 美雲織物(株) 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(生産数量の追加) 株式会社銀座もとじ 代表者名：泉二弘明 (担当者：青江良和) 東京都中央区銀座 4-8-12 コチワビル 3F Tel 03-5524-3222 表示者登録番号 011	白生地 (着尺地) (羽二重) (七本駒紬)	13反 27反	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 江口機業(株)
	白生地 (着尺地) (一越縮緬)	20反	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 (有)坪井商店
	白生地 (帯地)	20本	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)
	染織作家作品 (紬着尺) (帯地)	8反 10本	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 下井つむぎ展
	染織作家作品 (帯地)	12本	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 工芸藤山

提携支援センターから

提携・支援センター活動日誌 No. 23 (H24.1.1 ~ H24.2.29)

年月日	活動内容等
24.1.17 ~ 24.1.18	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明（茨城県）
24.1.26	蚕糸絹業情報交流会（東京都有楽町 蚕糸会館）
24.1.27	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明（福島県）
24.1.30	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会（仮称）設立準備会 （東京都有楽町 蚕糸会館）
24.2.1	純国産絹製品展示PRコーナーの運営等に係る情報連絡会 （東京都有楽町 蚕糸会館）
24.2.14 ~ 24.2.20	純国産絹製品展（熊本県鶴屋百貨店）
24.2.20	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会（仮称）設立準備会 蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業情報連絡会（東京都有楽町 蚕糸会館）



1月26日開催の蚕糸絹業情報交流会

ジャパンシルクセンターにおける “純国産絹製品”のPR活動

社団法人 日本絹業協会

新規製品、追加品目とも増加する 純国産絹マーク

近年、我が国では膨大な輸入量にのぼる輸入食料品分野から火がつき、特に安全・安心面において、あらゆる商材で生産国表示、生産履歴が厳しく問われるようになってきました。

蚕糸・絹業分野においても、例外ではありません。特に本分野では、染め加工関連における安全・安心問題も一方にはありますが、絹製品では繭から始まり最終の絹製品にいたる絹素材の生産者の明確化のための履歴表示が最大の問題点になっております。

今後とも我が国で培われてきた蚕糸・絹業の文化を持続的な産業として維持、発展させていくためには、繭・生糸の段階から最終絹製品にいたる加工分野まで一貫して国内で生産された純国産絹製品を「純国産絹ブランド」として確立し、輸入原材料（生糸、撚糸）を使用した絹製品とは区別された市場を構築することが必要となってきました。



(千總の京友禅振袖)

平成 20 年 3 月に制定された「純国産絹マーク」は、国産の繭・生糸の希少性を活かし、蚕糸業と絹業が連携し、消費者にとって魅力ある純国産絹製品を提供するために設けられたもので、当協会は第三者をもって構成する審査委員会を 20 年 7 月 4 日から定期的で開催し、当該者に対してそのマークの使用許諾を行ってきました。

平成 23 年 12 月 12 日開催の純国産絹マーク審査委員会を終えた時点では、157 者、346 品目の絹製品に対して、使用許諾を行うことができました。今後は、蚕糸・絹業提携システムが構築された 57 グループからの付加価値の高い、本物志向の新しい製

品が創作され、多くの使用許諾申請が行われることを期待しています。

“純絹” P Rセンター3拠点

このような流れに呼応して、当協会が設置しているジャパンシルクセンター内に、さる平成21年5月に常設の「純国産絹製品展示P Rコーナー（以下、「P Rセンター」という。）を蚕糸・絹業提携支援センターの委託を受けて開設いたしました。

因みに、現在このような「純国産絹製品の展示P Rコーナー」は群馬県立「日本絹の里」（群馬県高崎市）、「西陣織会館」（西陣織工業組合、京都市）の2カ所にも設置され、これらの3カ所を拠点として、鋭意P R活動を展開しております。

この拠点の一つとしてのジャパンシルクセンターは首都圏・東京地区の絹製品愛好

家への情報発信の拠点として設置されたものです。

ジャパンシルクセンターが設置されている丸の内界隈は、多くのブランドメーカーが路面店を出店し、ブランド力を競争、誇示している場所でもあります。

拠点活動のさらなるレベルアップ

平成22年の2月には、純国産絹製品の流れを表現するジオラマ（立体模型）が設置され、さらに視聴覚で純国産絹製品を説明するための動きのある映像システムも設置し、訪問者への効果的な説明に寄与しております。

今後は、このジオラマの映像システムを活用し、各純国産絹製品の製造過程、蚕糸・絹業提携グループの紹介など来場者の質問に応じることのできる、見て分かりやすい、強力な情報発信力を備えたP Rセンターを作り上げていこうと日々邁進しております。

ここで、シルクセンター来訪者からの主な質問事項を、電話、メールによる問い合わせも含めて整理しておく、

- (1) 純国産絹製品と外国産絹製品の具体的な違いがよく分からない。
- (2) 純国産絹製品は何処へいけば、買えるのか。

といった質問が数多く寄せられています。このような質問・意見を念頭に、今後のP Rセンターの強化・拡充を考える時、地道に（財）大日本蚕糸会 提携・支援セン



(銀座もとじの作家物着尺)



(富岡シルクブランド協議会のネクタイ、スカーフ、ストール)

ター等との連携のもと、PRセンターとしての基本的な事項を、一つ一つ整備していくことが益々重要になってきています。

その具体策としては、

- (1) 我が国蚕糸・絹業(養蚕農家、製糸工場、染め・織りの現場、提携・支援グループ等)の紹介リーフレットの作成。
- (2) 純国産絹製品の希少性、純国産絹製品誕生等の物語性をカラフルに分かりやすく、かつ詳細(純国産絹製品については、特にこの物語性をよく理解してもらい、国産の繭から作られた純国産絹製品の価値を消費者に充分PRする必要があります。)に伝える映像データの作成。

以上の新しい制作ものと併せ、既存の各種パンフレット、刊行物(「シルクレポート」(財)大日本蚕糸会 提携・支援センター発行)、「絹だより」(当協会発行)等々関係するあらゆる情報誌(紙)を網羅した「蚕糸絹・パンフレットコーナー」(仮称)の

ようなコーナー(特設の棚)を設け、来場者の要望に応えられるよう施設を充実させていきたいと考えております。

過去の優れたビデオやDVD等が、ともすれば宝の持ち腐れ状態になっているので、来場者を関知すると自動的に画面が流れるシステムとか、フィルム・ライブラリーのように、見たいものがチョイスできるようなダイジェスト版の制作とか、いろいろと工夫の余地は残されていると思います。

そして、当協会の「絹だより」、大日本蚕糸会の「シルクレポート」、各種絹製品の展示会、純国産絹コーナー等々の連携による情報の集積、その分析と再構成、それを発信するという連鎖を構築し機能させていくことが、当協会の喫緊の要務と考えております。

最後に、純国産絹マークの使用許諾を得



(織匠万勝の帯地、着尺地)



(丸万中尾の江戸小紋)

た方々が、PRセンターに設置された「純国産絹製品コーナー」に展示協力をいただいた方々（当協会が委託し、国産繭を用い

て試作された製品を含む）の一覧は、別表のとおりとなっております。

ジャパンシルクセンターの展示一覧

年月	出展者	特徴
平成 22 年 3 月	銀座もとじ	雄だけの蚕「プラチナボーイ」から取った糸は細く丈夫で、プラチナのように美しい光沢を持つ、その特徴を生かして後染反物、結城紬、大島紬などの様々な反物。
	* 東北撚糸	経糸に「ぐんま 200」、緯糸に低張力繰糸した柔軟性に富む「ふい絹」を使用した婦人ドレス、着尺（江戸小紋）、帯（手描き江戸更紗）。
	* 新啓織物	埼玉県の蚕品種「いろどり」の生糸、ふい絹を用いて、秩父地方のほぐし織の技法を駆使した、帯地、着尺地。
4 月	ミラノリブ	群馬県大胡町のぐんま 200 を使用、オリジナル技術を用いて、レインボーストールをはじめとする洋装ニット製品。
	銀座もとじ、* 東北撚糸、* 新啓織物	(前掲)
6 月	* たてよこの会	経糸には群馬県の普通蚕品種を、緯糸には低張力で繰糸した柔軟性に富む「ふい絹」（太織度低張力糸）、天蚕糸、いろどり、ネットロウシルク、座繰り糸を用いた着尺、帯、ショール。
	* 草木染工房山村	ぐんま 200 を用い、貝紫染糸の手織りのストール、帯地。
7 月	* 21 世紀の絹を考える会	生繭繰糸した生糸（細織度蚕品種「あけぼの」）を使用し、草木染した製品。
8 月	* 21 世紀の絹を考える会	(前掲)
	マルシバ	蚕品種「白繭細 1 号」を用いた白生地。
	カシワギ	山梨県の繭を用いた掛け布団。通常の中綿部分を重ねた薄絹にしたオリジナル製品。
9 月	織匠万勝	群馬県伊勢崎市の繭を低速繰糸した、かさ高性のある生糸を使用して、西陣織の高度な技術で、上質の心地よい肌触りと温かみのあるオリジナル図柄・配色の着尺・帯。

10月	織匠万勝、 黄八丈めゆ工房	(前掲) 新小石丸生糸を使用し、植物性天然染料で染め上げた手織の黄八丈。
	西陣まいづる	選繭を徹底した群馬県産春繭を低速で繰糸した高品質な生糸を用いて、織り込密度を高くし(通常の3割増)、金銀糸を使用した光沢のあるしなやかな西陣の袋帯。
12月	小倉商店	蚕品種「朝・日×東・海」を使用し、結城紬の本来の風合いを訴求した最高級の結城紬の着尺、帯。
平成23年 1月	小倉商店	(前掲)
	日本蚕糸絹業開発協同組合	群馬県の普通蚕品種、オリジナル蚕品種を用いた裏絹、白生地、染色作家製品。
2月	伊と幸	蚕品種「松岡姫」「上州絹星」を使用し、オリジナルの白生地の開発を目指した製品。手触りの柔らかさ、優しさ、着心地の軽やかさが特徴。
	丸万中尾	繭から織物まで全て長野県の技術で制作された着尺を江戸小紋に染め、また、帯を制作し織組織等オリジナル性の高い製品。
3月	伊と幸、丸万中尾	(前掲)
4月	日本蚕糸絹業開発協同組合	(前掲)
5月	田中種	普通蚕品種を丁寧に繰糸し、生産履歴の明らかな「極小紋型模様」の小紋の提供。
6月	内海呉服店、長島繊維	東京都多摩地域の養蚕農家が生産する普通蚕品種、青熟、四川三眠蚕等を用いて、染織作家の作品等を製作。
7月	荒川	蚕品種「ぐんま200」を使用し、金井敬司伝統工芸士の手組みの帯締。腰のある風合いと美しい染色、しなやかな締め心地の帯締。
	東北撚糸	(前掲)
8月	宮階織物	蚕品種「ぐんま200」を使用し、西陣の御召の技術を駆使し、正倉院絵羽を復元させた着尺。
	第一衣料	茨城県の普通蚕品種の繭を使用し、碓氷製糸で生糸に、丹後で製織し、素材の特徴と個々の販売店の顧客を考慮した色無地、付下、染帯。
9月	伊と幸	(前掲)
	*ぐんま絹行合同会社	群馬の繭を用いて、ジャガード紋織、フラミンゴ織によるオリジナルストール。
10月	千總	普通蚕品種で繭産地を限定し、京友禅の技法で染色された、光沢があり、しなやかな、シワになりにくい振袖、訪問着、付下等。
	甲斐絹座	「甲斐絹」を富士北麓地方の地域資源として再認識し、その伝統の紋を復元し、現在の消費者に受け入れられる商品として開発されたネクタイ、ストール等。
11月	丸万中尾、甲斐絹座	(前掲)
12月	織匠万勝、甲斐絹座	(前掲)
平成24年 1月	千總、甲斐絹座、銀座もとじ	(前掲)
2月	加藤萬	蚕品種ぐんま200の発色性の良さが生かされた帯揚。織(丹後ちりめん)にこだわった製品。
	平田組紐	蚕品種ぐんま200の光沢、染色性の良さを活かした帯締、羽織紐。
	マルシバ・三越伊勢丹	蚕品種「三煌」(極細繭糸「白繭細1号」)を用いて織り上げた白無垢の婚礼衣装。
	銀座もとじ、千總、甲斐絹座	(前掲)

注：出展者の*印は、本協会が委託し、国産繭を用いて試作された企画製品です。

「主要絹織物産地」平成 23 年の回顧

— 東日本大震災はじめ幾多の困難に遭遇 —

社団法人 日本生糸問屋協会

近年の主要絹織物産地における絹製品の生産は、消費不振、海外の安い製品の輸入量の増加等から年々減少傾向で推移してきた。平成 21 年はリーマンショックによる世界的な景気後退による消費不振のなか、絹製品の消費も大きく減少したため、絹織物産地の生産は大幅な減産となった。

翌 22 年はほとんどの産地で絹製品の生産は前年を上回り、回復基調を示した。

23 年はこれを受けて高水準の生産が期待されたが、22 年から続いた輸入原料生糸価格の高騰による原料高の製品安、円高による海外の低価格絹製品の輸入により織物産地を取り巻く環境は厳しくなり、更にユーロ圏の金融不安の高まり、世界的な景気減速により消費は低迷した。また、23 年 3 月 11 日の東日本大震災により消費自粛ムードの高まりにより絹製品の消費不振は顕著なものとなった。

主要産地の動向を生産数量の前年比で見ると、生産数量が最も多く白生地は無地、紋織中心の丹後産地（京都府）は 92%、白生地の長浜産地（滋賀県）は 84%、西

陣産地（京都市）の帯は 84% 程度、羽二重が中心の福井産地（福井県）はほぼ前年同で 100%、駒紹と羽二重を中心とする五泉産地（新潟県）は 79%、振袖、訪問着、紬・緋などの十日町産地（新潟県）は 95%、献上柄等の帯中心の博多産地（福岡県）は 93%、裏絹等の群馬・埼玉産地（群馬県・埼玉県）は 96% となっている。

原料生糸は、ほとんど輸入糸で平成 22 年の輸入数量は、12,207 俵で中国産が約 70%、ブラジル産が約 30% であり、各産地とも高品質な高格物を使用している。平成 23 年の輸入数量は 9,323 俵で中国産が 7,170 俵、77%、ブラジル産が 2,136 俵、23% となっている。絹織物のもう一つの原料である絹糸（生糸に撚加工したもの）は、22 年の輸入数量は 16,306 俵で、中国産 59%、ベトナム産 26%、ブラジル産 11% となっており、23 年の輸入数量は 17,526 俵で中国産 59%、ベトナム産 29%、ブラジル産 10% となっている。輸入した状態でそのまま織機に掛けられる完成撚糸のものも多くなっている。

中国の輸出生糸価格は平成21年前半の2千円台半ばであったものが後半から高騰し、平成22年の年初には3千円台半ばに、年末には4千円台となり、日本における輸入価格は円高の効果である程度抑えられたものの、23年後半には5千円近くになった。23年の輸入中国糸の価格は4,000円台前半から5,000円、ブラジル糸の価格は4,000円から5,000円台前半であった。

絹糸の23年の輸入価格は、中国産が4,000円台半ばから5,000円、ブラジル産が4,000円台半ばから6,000円、ベトナム産が4,000円弱から5,000円弱であった。

絹織物の輸入は、平成8年までは生糸換算で年間約60,000俵から60,000俵台半ばの数量で推移していたが平成9年以降は漸減して23年には14,221俵となった。単位面積当たりの重量は軽くなる傾向にある。単位重量当たりの価格はおおむね横這い傾向となっている。

絹の二次製品の輸入は年々増加傾向にあり、中国産が極めて多くなっている。

絹織物産地の回顧

以下は各産地からの報告を要約したものである。

○丹後産地

丹後産地の23年のスタートは22年からの原料生糸価格の高騰と生糸先物相場の強含み観でのスタートとなった。特に糸商は中期的に見て生糸相場は強く底堅いとどの相場認識であった。産地機業も1月から4

月の原糸手当は概ね強含みで買い進んだ。一方、織物の状況は集散地の白生地商を中心に意外に冷静なスタートとなった。しかし、日増しに高値になる糸価に刺激を受けて、2、3月物は買い先行スタンスに変わってきた。製品価格は糸高で苦戦を余儀なくされ、産地機屋の織物採算面は極めて厳しく糸高の製品安であった。しかしながら、産地全般に原料生糸の先取りもあいまって、1月から4月の生産は比較的順調なペースできたが、3月11日の東日本大震災を機に和装関連全般にわたって状況が悪化し、この状況は今なお続いている。

震災後の集散地から産地への商品発注状況は、ロットのまとまった商談は出来がたく、小ロット多品種の商いの傾向となり生産コスト高となった。

平成23年1月から5月は原料生糸の高騰、6月から12月は続落となり、二分した年となった。

生産の状況を月別にみると、1月から7月は比較的健闘して前年を数パーセント下回る程度で推移したが、8月以降年末までは二桁の減産であった。この状況下で丹後産地は、23年の生産計画48万反の設定であったが、生産実績は476千反となり、前年比92%で激動の年が終わった。

○長浜産地

東日本大震災は和装業界にも影響を与え、需要の減少が著しく、集散地の在庫減少を優先され、要るものだけの発注で産地の生産調整が続いた。採算は春先の原料高

を吸収できにくく、加えて減産を余儀なくされフル稼働が出来ずコスト高となり厳しい一年であった。

長浜産地の23年の生産数量は70.8千反で前年比84%となった。22年は減少に歯止めがかかった1年であったが、23年は大幅な二桁減となった。

上半期は前年から続いた原料高による高値警戒感で集散地の当用買いと需要減により生産調整をさせられて減産がつづき、主力商品である変わり織が大幅減となった。

下半期は中国生糸価格の暴落により織・原料ともに要るものだけの手当で、夏場以降、一段の減少となり月間生産数量が6千反を割り込むところまで落ち込んだ。

平成23年は織物製造業者にとって生産数量、コスト、雇用面等全てにおいてぎりぎりの状態で厳しい1年であった。

○五泉産地

五泉産地の平成23年の生産は、品目によっては前年を上回った月もあったが全般的には荷動きが低調で推移したため、年間では好調だった前年を約2割下回り38.6千反（駒紹は反数、羽二重、精華、駒塩瀬は疋数で集計）であった。主力の駒紹（五越）は20.4千反で前年比74%となった。

産地の原料手当は、荷動きの低迷、生産調整により新規買い付けは年間を通して低調であった。生糸の品質は高格物となっている。原料生糸の消費数量は1.2千俵であった。

品目別月別にみると、駒紹（五越）は3

月までの生産は順調であったが4月以降は伸び悩み年間では前年比74%となった。駒紹（三越）は生産量が少ないので月別の変動が大きいが年間では前年比95%と健闘した。羽二重は前年比90%となり、精華は1月から8月までは生産が低迷し、9月以降は持ち直したものの、年間では前年比70%であった。駒塩瀬は月別の変動が大きいが前年比80%であった。

○福島産地

福島産地の23年の生産は、製品の販売不振から年間を通して前年に引き続き厳しい状況で推移した。売れ行きは機業により差があるものの産地全体としては低迷し、和装、スカーフともに厳しい状況であった。和装品は価格が安いと売れるものもあったが中国製品との価格競争で生糸の上昇が製品価格に転嫁できず採算割れの商品が多く、見込み生産は控えられた。

使用生糸の品位は、中国糸は産地指定の20中・21中、ブラジル糸は27中・31中の5Aの高格物中心となっている。

原料生糸の買い付けは、年の前半は値上がりが続いたものの当用買いであった。

月別にみると1、2月は主力製品の羽二重、スカーフ地ともに受注の減少、販売不振から在庫は減少、採算も厳しくなった。

3月は東日本大震災により停電、断水、設備被害等により3から7日間程生産中止に追い込まれた。風評被害も発生し原料高の製品安が続いた。4月は和洋ともに受注が減少し、生産数量、操業度ともに低下した。

5月は大震災、風評被害の影響で売れ行き不振、原料高の製品安から採算割れ製品が多くなった。6月は5月の連休の関係で操業度が若干高い機業もあった。7月は一部の機業に輸出用の成約があり、また受注が若干増加したところもあったが受注減、販売不振が続いた。8月も織物生産は引き続き受注中心となっており、中国生糸価格の下落はあるものの採算の悪化は続き、採算割れ製品が多くなっている。9月以降は和服、スカーフともに市場の悪化が続き、輸出は円高により契約が出来ず不振である。原料高の製品安状態が続いており苦心している。

○小松産地

小松産地はこれまでの商いの小口化が継続している。正絹物は和洋ともに受注が減少したことから生産調整が続き、生産数量はかなり減少した。しかしながら新しい動きもあり、玉繭から糸を紡いだ手紡糸を手織りして作られる石川県伝統織物の牛首紬を使ったドレスがパリコレクションに採用され話題となった。また、10月2日には金沢園遊会実行委員会主催の金沢織物小町が金沢市中心部できものショー、三茶屋街、金沢城、兼六園でのそぞろ歩き、大茶会が盛大に催され、加賀友禅きもの券や旅行券などの抽選会も行われ、業界の活性化、需要増進が図られた。

他方、合繊洋装用の薄地織物は、世界のファッション業界で合繊洋装需要がブームとなり、ダウンジャケット中心に8月まで

受注があり引き合いは好調が続いた。このため、繊維大手商社は協力機業に生産設備（織機）を貸し出し増産体制をとった。9月に入り冬物の節電特需として保温効果の高いジャケット、カーテン等の注文が急増し、生産工場はフル稼働で対応に追われた。

生糸の使用はこれまでの傾向と同様で、経糸はブラジル糸及び中国糸の高格物を中心としており、緯糸の9割は中国の完成撚糸、残りの1割は中国絹糸で20中2片中心、一部21中3片を使用している。原料生糸の手当は目先必要分のみで当用買いに徹している。原料生糸の相場は、7月以降下げ止まりと円高により下落傾向となり、年後半の絹織物は高い時の原糸を使用することになり、原料高の製品安で採算は極めて悪くなっている。

月別に動向をみると、1月は生糸価格が高く、製品価格に転嫁できず減産傾向で推移した。中近東向けの合繊洋装は引き続き好調を維持した。2月も中近東向けの合繊洋装は好調を保ち、加工賃の単価アップも行われた。3月は小口商いで減産が続いていたが東日本大震災で商いはストップ状態となった。洋装関係の合繊薄地織物、ニット商品は好調が続き活気があった。4月は和装織物の減少傾向が続いたが、今年は加賀百万石行列の一部に加賀友禅が使われることになり、業界では需要拡大に期待を寄せた。洋装の合繊織物は良い状態が続いた。

5月は絹織物の商いは震災の影響もあって一層の小口化が進んだ。女性の有志で絹織物の小松綸子を使ったストラップ、ブロー

チ等の装飾品作成のイベントで試作販売があった。合織薄地織物は相変わらず引き合いがあった。6月には今秋に和装文化協会による大阪駅の時空広場で加賀友禅きものショーを開催することが決定した。洋装の合織織物は海外市場中心にダウンジャケット等に使用される薄地織物が好調で、商社は協力機業に織機を貸し出し増産体制を整えた。7月、石川県伝統絹織物牛首紬がパリコレクションに採用された。合織織物の薄地織物は引き続き活発な引き合いが続いた。8月、合織薄地織物の引き合いが継続している。9月は生糸価格の下落で既に手当て済みの高い価格の原料生糸を使用した織物の製品安で採算が厳しい状況であった。

10月、絹織物の商いは小口商いが続いている。合織は相変わらず好調でジャケットやカーテンの注文が入っており、生産工場は対応に追われている。2日には金沢きもの小町が開催され色鮮やかな振袖や気品ある訪問着等に身を包んだ1,200人余りの参加者が兼六園や街中に繰り出し城下町に華やぎを添えた。11月、絹織物関係は小口商いが続いており注文が少し入っている程度である。織物の行事として加賀友禅ファンクラブのきもの着装会が5日東京六本木、東京ミッドタウンで開催され、加賀友禅の着物姿の女性達が街を歩き、華やかな空気が広がった。12月、絹織物は相変わらず悪い状況が続いている。合織は相変わらず好調で軽量素材工場はフル稼働で年間5億円程度の設備投資を行い新製品を順次投入していく体制にする予定である。

○群馬・埼玉産地

群馬、埼玉産地の23年の織物生産は、群馬が19.1千反で前年比101%、埼玉が5.1千反で前年比83%、合計では24.2千反、前年比96%となり、群馬は前年並みを維持したが埼玉が前年をかなり下回ったため合計では前年実績をやや下回った。生産コストの上昇と進行するデフレや取扱数量の減少で採算面では相当厳しい結果となった。春、秋、暮の需要期でも需要の動向は悪く、むしろ日を追って低落化が前年より進んだ。特に東北地方の取引先からの債権の回収は震災の影響で困難になり、併せて取引先の廃業等で今後の懸念される状況に至った。

○西陣産地

23年は、世界の市場を揺るがす問題が多発し、国内に於いても大震災、歴史的な円高、株安、長引くデフレなど多くの企業が厳しい舵取りを強いられた。

西陣においても、こうした状況下で、不安定な原料価格、販売不振、販売単価の下落など回復の兆しが見えないまま不振を極めた1年となった。

原料面では、長らく上昇してきた中国生糸価格が一転下落に向かい、さらに販売不振も相まって当用買いの慎重な手当に終止した。

生産状況も必要最小限の生産に徹し、なんとか機場を維持してきたが、夏場以降、減機の話も出るようになり、高齢化による自然減等もあり、さらに産地の縮小が進ん

だように思われる。

販売状況は、振袖セット用の値頃品において一部で堅調な動きだったが、販売価格は引き続き下落傾向にあり、対応できるメーカーは限られてきている。中高級品に関しても価格対応を求められており、機業の採算を圧迫している。催事や売り出しにおいても、販売量が減少する中、経費の負担割合は増えており、従来のビジネスモデルからの脱却が求められている。

ネクタイについては、震災による節電対策の一環として、夏場のノーネクタイがさらに浸透し販売、生産量ともに大きく減少した。来年以降も流れは変わらないと思われ、産地としても大きく縮小せざるを得ない状況にある。

西陣産地全体を見渡すと、業界独自の流通、商習慣などが依然として根深く存在している。良し悪しはともかく、外部環境が悪化する中、悪い部分が顕著に現れたのではないかと思われる。

○京都室町市況

平成23年は21年春から続く生糸価格の上昇過程の中で始まり、更に3月に東日本大震災が発生し、小売店としては、震災直撃地域では数ヶ月間は商売どころではなくまた、関東・東北地区では、節電の影響で催事が出来ない、消費者心理として着物が売れないなどの要因で消費は減退し、売上げを大幅に減少させる結果となった。

また、室町ではそれに追い打ちをかけるように、8月には約2年半続いてきた生糸

価格の上昇は下落傾向に転じることとなった。9月には下げ止まったものの下がることに対する危機感が拍車をかけ、販売不振も加わり、秋の実需が伺えない程、市場は落ち込む結果となり、各段階の何処をとっても厳しく、売上、利益ともに下落し、赤字経営に転落する業者が大きく増え、回復の兆しも見えない状況にある。

23年を振り返ってみると、商売右肩下がり状態においては、問屋としては、商品の購入は止め、徹底した在庫調整を図ったおかげで、商品の流れ・流通は停止し、それが川上へと大きく波及する結果となった。染漬メーカーにおいては、商品が前に流れないため、売り上げは大きく落ち込み、生産調整を余儀なくされる状況となり、それが白生地の販売不振に繋がり、機屋・生地産地の疲弊を大きくし、染工程においては、仕事がないという状況を招く結果となった。

反面、こうした四面楚歌の状況の中ではあるものの、少なからず活路を見出す動きも極僅かではあるが見えてきたのも事実である。要するところ、流通の再編である。小売りとメーカーとの段階において、利益の出る流通の仕組みが出来る兆しがあり、新たな商売形態も見え隠れしてきている。

○米沢産地

米沢産地では呉服の生産が前年同様の低水準で推移した。服地も他品種、小ロット、短サイクルといった状況で、採算面も以前より厳しく、業者数は減少し規模も縮小し

ている。

また、輸出物は、円高が進行しており、仕事の出来る環境になく産地としては大変な状況にある。

原料の買い付けは中国系、ブラジル系の高格物で価格の上昇も続いていたが、当用買いが主で在庫も少量で推移した。

月別に見ると、1月は生産が前年末から停滞したままで呉服の動きがあまり見られず、春物の服地も出足が悪く、原料の強含みの影響もあって採算的に厳しいものがあった。2月は前月の動向がそのまま続き原料高の影響が大きく物造りが進まない状況であった。3月は東日本大震災の発生で経済全体の停滞により荷動きや生産がストップ状態となり、被災地に工場を持っている業者もあり、一産地の問題だけでなく影響は多岐に及んだ。4月は消費の自粛ムードが漂う中、原料高により単価を上げざるを得ないところが多く、受注の減少や風評被害の広がりが懸念された。5月は糸価の強含みがさらに進行し、大震災の影響もあり荷動きが悪い状況であったが、輸出物で少し動きが見られた。6月は時期的なこともあり、服地以外は受注が少なく、節電を考えなくてよい状況であった。

7月は各地で天災も多く、商いの方も全く進まない状況で、生産も調整しながらの対応となった。8月は休みも長期のところが多く調整された状況に変わりなく、糸価の変動はあったが商況の厳しさから影響は見られなかった。9月、秋口に入り少し動きも見えたが、状況が良くなることは望み

得ず対応に苦慮した。10月は呉服の企画商品の一部で生産が伸びたが全体としては低調な商いであった。服地はシーズン物の受注が遅れての生産となり納期やロットの問題も聞かれた。ブランド品、高額商品の一部に受注が入った。輸出物は仕事の話は全く聞かない。11月は服地の引き合いは総じて低調であった。呉服は袴、おしゃれ帯等に荷動きは感じられるが、女物の着尺、紬等はあまり動きを見せず、裏地も動きは悪い。輸出物は状況の変化がなければ受注は難しい。12月は原料生糸の買い付けは価格の安定とともに少しみられるが荷動きが悪いため当用買いとなっている。呉服の男物着尺、袴、女物着尺、紬、絣等の荷動きは見られなかった。服地の受注は少なく厳しい状況で操業しないところも出ている。

○山梨産地

山梨産地は、服地関係は前年末から年初の1、2月は比較的動きが良かったが3月の大震災以降は本格的な稼働は出来なかった。ネクタイ関係はクールビズということもあって、一部に動きはあったものの年間では厳しいものとなった。服地関係、ネクタイ関係ともに厳しく、体力低下を実感させる1年であった。

原料の買い付けは、必要量のみの手当てで在庫も少ない状況にある。使用生糸は高級生糸を使用している。

採算状況は、服地はそれなりに、ネクタイは悪化の一途である。

服地関係は、1、2月は納期に追われての生産であったが良い状況で推移した。3月には納品が終わり、サンプル生産程度になり、更に大震災の影響により自粛ムードになってしまった。4月以降は一時的には多少の動きはあったが全体的な流れにはならなかった。生産量が少ないものの何とか採算は合っていた。

ネクタイ関係は、年初には一部に動きはあったものの5月から10月はクールビズでネクタイの着用期間が半年になり、売れる状態にはない。原糸高の製品安で売値が下がっている。7月以降も全体としては良くない状況が続いた。10月には服地は一部決まりだしたが量的には少ない状況である。11月、服地は前年の半分の生産量である。売れ行きは小売りの動きが鈍く、必然的に在庫を残したくないため発注が減る状況にある。12月、ネクタイは一部に動きはあるが生産高は少ない。服地の生産も少なく売れ行きも良くない。ユーロ、ドル安円高で服地の輸入生地がピークの半値近くで入ってくるのでそちらに動いている。採算状況は服地、ネクタイともに良くない。

○博多産地

生産動向は、撚糸価格の上昇分が商品単価にあまり転嫁できず厳しい経営状況が続き、23年の生産数量は113.1千本で前年比93%となった。

主力の平地小袋帯の生産は39.7千本

で前年比83%であった。紋袋帯と平地八寸名古屋帯はそれぞれ前年を上回った。他の紋八寸名古屋帯、四寸単帯・吉弥帯、男帯、佐賀錦、平地袋帯は前年を下回った。原料の供給は、年後半から一部の機屋でブラジル撚糸からベトナム及び中国の撚糸に変わってきている。原料生糸は価格面からブラジル産から中国産に変わりつつある。

月別に見ると、1月は紋織が減少、平地が増加し、サンプルを含め夏物の動きが速くなった。2月は四寸等夏物商品のサンプル納品が活発化した。3月、平地の夏物用が大震災の影響から動きが止まった。採算は良くない。4月は一部で生産調整の動きがあり取扱量も前年比で12%減少した。5月は増産した品目もあったが全体では21%の減産となった。採算は撚糸単価の上昇でコストアップとなり良くない。6月は夏物用の帯の出荷が好調であった。

7月は紋袋帯の売れ行きが好調で前年を大きく上回ったが、他の製品は芳しくなく全体の生産量は下回った。8月は夏場の不需求期に加え市況の悪さもあって主力の八寸、平地子袋は大幅な減産となった。9月は来夏用の織り込みが始まり一部を除き増産となった。10月、紋八寸名古屋帯は売れ行き不振と生産調整により前年比44%の減となった。平地八寸名古屋帯は大幅な増産となった。11月は全体的に大幅な減産となった。12月の生産は好調であったが採算は減産によりコスト割れが続いた。

シルク遺産を訪ねて③

ガンゼ博物苑とガンゼ記念館

東京産業考古学会

副会長 平井 東幸

ガンゼ(株)が創業の地に保存公開しているわが国の代表的なシルク産業遺産である。

まず、ガンゼ博物苑は、平成8年に創業100周年を記念してオープン、歴史蔵、ファッション蔵、新機能蔵、集蔵（イベントスペース）、桑の苑（植物園）等から構成されているが、とくにシルク遺産としては歴史蔵が中心である。同社創業時の状況や技術設備を現物と映像で巧みに紹介している。館内の機械類の保存展示は産業文化財保護の視点からも素晴らしい。八丁撚糸機、タイコ八丁撚糸機、ガンゼ式自動撚糸機、各種の手織機械は貴重である。

なお、本誌の読者には周知のところだが、同社は波多野鶴吉が地元（京都府何鹿郡）の産業振興を目的に創業したもので、旧社名にある郡是はそれを示している。つまり、郡の産業振興を会社の事業目的としたことから社名を郡是（郡の方針）としたのである。

もう一つは、通りを隔てたところにある



ガンゼ博物苑（外観）

ガンゼ記念館である。昭和25（1950）年に開館した、わが国企業博物館としても最も古いものの一つで、歴史と伝統ある施設。

明治29（1896）年の創業以来の同社の歩みを中心に歴史的資料が展示されている。わが国産業史、技術史や経営史研究にも貴重なものである。建物は、大正6（1917）年に本社事務所として新築されたもので、昭和25年に記念館として発足した。2階建ての建物は、主展示室、創業者室、錦絵ギャラリー、蚕糸室等により構成。隣接す



グンゼ博物苑（外観）
写真提供：グンゼ(株)

る建物とともに、日本建築学会から保存指定を受けた。さらに平成 19（2007）年には上記のグンゼ博物苑とともに経済産業省の「近代化産業遺産群 33」に認定され、その文化的価値はさらに広く知られるようになっていく。

主な見どころは以下の通り。

①グンゼ博物苑の歴史蔵の建物と展示資料が興味深い。桑の栽培から養蚕・製糸等の産業を歴史的に展示している。

②グンゼ記念館の建物は築 95 年を経過した貴重なもので、よく保存されており当時の企業の本社建物の状況を今日に伝えている。

③歴史蔵が所蔵している機械・器具は創業当初からの貴重なものが少なくなく、当時の養蚕と製糸の技術を歴史的経過を辿って知るのにまことに有効である。

④上記のように建築学会の指定、経産省の認定、京都府景観遺産の登録等が示すように文化財としての価値が定まっている見応えある施設である。

⑤同社の大正・昭和期の建造物を中心に、同社、綾部市、観光協会等が一体となって優れた景観形成に取り組んでいるところも大きな見どころである。

わが国屈指の歴史ある同社が、このように建物はもとより、機械・器具、文献資料等を保存し、常設展示されていることに敬意を表したい。これらの資料は単に企業の歴史を証する資産であるだけでなく、明治以来のわが国産業経済を支えた文化財として貴重である。これらの施設と史料が恒久的に保存活用され、観光はもとより教育や地域活性化に一層貢献していくことが期待されている。

■所在地：京都府綾部市青野町

■電話：0773-43-1050

■公開日：木、金、土、日の 4 日

「グンゼ記念館」は金曜のみ開館。
なお、公開日、時間は電話等でお問合わせください。

■アクセス：JR 山陰本線綾部駅から徒歩
10 分 駐車場：60 台分

ひらい とうこう

東京産業考古学会 副会長

嘉悦大学 元教授

日本化学繊維協会元調査部長

国内産地情報

絹織物産地の概況（1月）

**依然として集散地の注文は鈍く
全産地とも減産傾向が続いている**

<原糸>

原料手当は、中国、ブラジルともに日本向け高格品の原料は、しっかりとした価格で推移し、安定的な価格で推移している。しかし、各産地ともに商いが進まないため、慎重な手当であった。全体的には当用買となっている。在庫は少ない。

<白生地>

- ・縮緬＝丹後の1月の生産は、前年比91%となり、稼動日数は17日と前年より1日少ない。荷動きは全体的に模様眺めの状態である。
- ・長浜の生産は、生産数が5,000反を割り込むこととなった。稼動日数は16日で前年より2日多かった。売行きは集散地からの注文が鈍く動きが悪い。
- ・五泉は、生産反数が14.1%の減産となった。全体に荷動きが悪い。
- ・福島は、受注減少に伴い、生産量は落ちている。
- ・石川は、絹ものは相変わらず奮わないが、合繊ものは好調である。
- ・福井は、小幅羽二重は関西向けであるが、関西での売上げも落ちている。広幅は前年並みの生産であった。
- ・群馬・埼玉は、群馬は微増、埼玉は微減であった。在庫も調整されて少なめである。

<先染織物>

- ・帯＝西陣は、一部値頃品は生産が追い付かず品薄状態である。しかし、全体的には不振である。
- ・博多は、紋八寸名古屋は前年比153%と増えている。紋系では袋帯、紋八寸がふえている。
- ・十日町は、売行きは振袖、訪問着、留袖は好調である。しかし、生産量は前年比92%と落ちている。
- ・米沢は、呉服は昨年より荷動きが停滞している。服地は受注が少なく、各社苦心している。輸出物は円高が続いているが一部高級品に受注があった。
- ・山梨は、ネクタイの一部に荷動きがある以外は生産量は少ない。売行きは相変わらず悪い状況が続いている。服地は発注量が少ない中での生産状況である。
- ・西陣のネクタイは、昨年秋からの受注分が今月中旬に終わり、端境期に入る。スーパークールビズ等、今年も厳しい環境が続くと思われ、先行きが案じられている。

（1 / 1～31の概要）

*（社）日本生糸問屋協会「月報」24.2.14第757号による。

海外シルク情報

中国

中国がシルク産業の第 12 次 5 カ年計画を発表

中国では、2011 年から第 12 次 5 カ年計画を策定、実施しており、引き続き向こう 5 年間、国全体の戦略的な経済発展を目指している。

このシルク産業版が今般、商務部より 2011 年 11 月 14 日付けをもって全国の関係部署へ公表、通知されたので、具体的な主要項目の数値目標を紹介する。

1. シルク産業の安定的成長

シルク産業の安定的成長を実現するため、期間中における単年度の繭生産は概ね 65 万トン、同年の生糸生産量は概ね 12 万トン（200 万俵）とし、養蚕業の年間総収入を 200 億元、製糸、絹織物業総生産額 2,000 億元及びシルク商品の年間輸出金額 35 億ドルを確保する。

2. シルク業界の生産性向上・前進

シルク業界の生産面での効率をさらに向上・前進させるため、2015 年までに業界の基幹技術である製糸の自動繰糸システムのオールデジタル化を図るとともに絹織機の新増設設備の 90%以上をシャトルレス織機の導入とする。

3. 大量生産・廉価販売からの脱却

大量生産・廉価販売をもっばらとする企業経営を改善するため、自主ブランドの育成強化を図り期間中に国際競争力のあるシルクブランドを 10 以上策定する。

4. 省エネと汚水の排出削減

- (1) 繭乾燥、絹染色分野でのエネルギー消費を 2010 年ベースで 20%削減。
 - (2) シルク工業単位での年間水使用料を基準年の 2010 年より 30%削減。
 - (3) 製糸企業においては 2015 年までに汚水排出ゼロを実現。
 - (4) シルク副産物の総合利用率を基準年に対して 80%以上向上。
- 以上の諸対策を実施する。

最近の中国乾繭、副蚕糸及び生糸類の現物価格の現状

中国繭絲綢交易市場（浙江省嘉江市）の1月20日発表による最近における中国各種乾繭、副蚕糸及び生糸類の現物価格を紹介する。

乾繭・94～105元/kg(1,175～1,313円/kg)、キビソ・63～74元/kg(788～925円/kg)、ビス・53～63元/kg(663～788円/kg)、・機械繰り生糸(21デニール、工場検査)296～302元/kg(3,700～3,775円/kg)、・機械繰り生糸(21デニール、国家検閲局検査)301～309元/kg(3,763～3,863円/kg)、・土糸(110デニール)253～262元/kg(3,163～3,275円/kg)、玉糸(110デニール)274～283元/kg(3,425～3,538円/kg)。

昨年下半期の価格暴落に対処して国家備蓄制度による生糸買上げ(約16,000俵)を発動して約半年が経過するが、現況の生糸価格は、300元/kgをどうにか維持している。

今後の動向は、本年春繭の生産とシルク輸出状況等に影響され、当面2月末に開催される香港シルクミニ交易会でのシルク出値と成約状況が注目されている。

(注) 円換算は1元=12.5円。

* (社)日本生糸問屋協会「月報」24.1.16第756号及び24.2.14第757号による。

港湾及び貨物輸送用鉄道の整備

シルク博物館

元部長 小 泉 勝 夫

1 開港当初の波止場

開港当初の横浜開港場の波止場については、「横浜開港場の位置問題」（本誌 2009 年 11 月号 No. 9）において、図 1（1865（慶応元）年の横浜絵図面）を用いながら説明したとおりです。

開港する際、運上所地先の海面に、北東方向に真っ直ぐにせり出した 2 つの波止場を作り、このうち、東側の波止場（東波止場又はイギリス波止場とよんだ）は外国貿易用、西側（西波止場とよんだ）は内国貿易用として使用しました。（後に、この両波止場全体が西波止場といわれ、フランス波止場を東波止場と呼ぶようになった）



（図 7）「横浜全図」明治 3 年 10 月の部分拡大
（横浜開港資料館所蔵）

開港当時の荷役は、沖に停泊中の本船と波止場との間を舢（陸と停泊中の本船との間を人や貨物を乗せて運ぶ小船）で往来していました。

この当時の横浜港は、防波堤などの整備がされていませんでしたので、強風が吹けば波が荒立ち、舢の行き来ができず、海上と陸上の連絡はしばしば断ち切られてしまいました。

開港当初から生糸輸出は、わが国の主要輸出品で、取扱量が多かったため、このような港湾状況では、外国船への積込みに支障をきたしていました。

2 波止場の波除け改修

1866（慶応 2）年に、横浜開港場で大火があり、運上所をはじめ居留地や日本人居住地の多くの家屋が罹災してしまいました。

この火災後、運上所施設の再建と併せて運上所前の波止場の改修も行われました。

東波止場（イギリス波止場）は先端部分から西側に湾曲させた突堤を延長し、図 7 のように象の鼻の形をしたある程度波よけのできる波止場に改修されました。

また、居留地側にも 1864（元治元）年

に外国貿易専用の波止場（フランス波止場とよばれた）が整備され使用されはじめました。

3 本格的な港湾整備の取組み

生糸輸出を中心に貿易がますます盛んになると、貨物量が多くなり、このような舢で荷物輸送をするような波止場では大変不便をきたし、大きな船が直接係留できる築港が必要になってきました。

そこで明治政府は、大きな船が直接係留できる本格的な港湾を整備することにし、イギリス人技師パーマーに依頼して、1889（明治22）年9月から築港工事（第1期工事）を開始しました。この港湾整備事業は、政府の一大事業であったといえましょう。

政府は、事業費約200万円（工事終了後の総決算額は約234万7,000円となり、予算額を約34万7,000円上回った）を予定しておりましたが、明治10年代後半の松方デフレ経済（本紙2011年3月号「度重なる明治期の蚕糸不況」参照のこと）を脱却して間もない時代でしたので、大きな財政負担でした。

ところが、明治19年にアメリカの好意により下関事件（1863年5月、長州藩が

下関海峡を通過する外国船を砲撃した事件）の賠償金139万円をわが国に返還してくれましたので、政府は国際的な利益にあてる趣旨で、この築港費に充当しました。

この工事は予定よりも遅れましたが、1896（明治29）年5月までに、港内に2条の防波堤（北防波堤と東防波堤）と帷子川かたびらの汚流を港外に導く導水提さんぼしの設置、イギリス波止場に幅員12～17m・延長730mの長い鉄の栈橋おおさんぼしを設置し、現在の横浜大栈橋の原型ともいべき栈橋を完成させました。

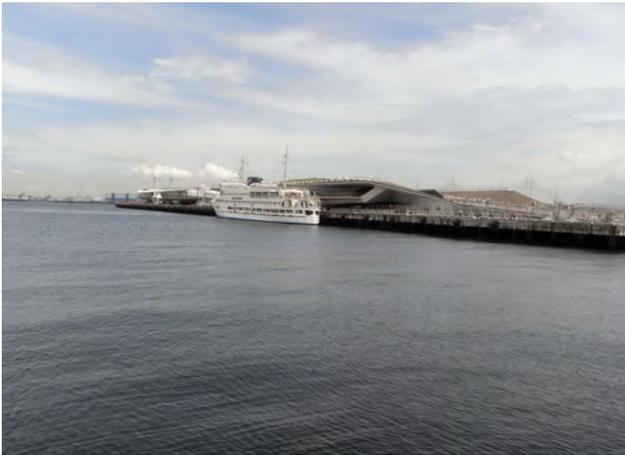
2条の防波堤（北防波堤と東防波堤）の整備により、包囲された船舶錨地びょうち（船がイカリを下ろして停泊できる場所）は、約150万坪（約495ヘクタール）となり、欧米の港に遜色ない港に整備されました。

この工事では、慶応2年に延長整備したイギリス波止場象の鼻の部分は、そのまま残されました。写真33からも、残された象の鼻の部分が分かると思います。

このように大栈橋の改修を行いました。この工事中、特に日清戦争後、急速に貿易が増大し、大型船舶の接岸施設の増設、税関設備の拡充や上屋うわや（停車場・波止場などで雨露をしのぐために柱上に屋根をかけて差出した仮屋）、倉庫、鉄道敷設、埋立



(写真33) 20世紀初頭の横浜港（横浜開港資料館所蔵）



(写真 34) 現在の横浜大栈橋



(写真 35) 輸出生糸船積み風景
(昭和 10 年ごろ)

(シルク博物館所蔵)



(写真 36) 現在の横浜新港埠頭

地の造成などの整備が急がれるようになりました。

そこで、第 2 期築港工事が計画され、1899 (明治 32) 年から税関設備工事、税関前海の埋立、上屋、倉庫の建設、鉄道敷設、大栈橋改修などを行い、大正 6 年 11 月に完成しました。

この第 2 期港湾工事によって、大型船が接岸でき、連絡鉄道、上屋、倉庫などを整えた新港埠頭しんこうふどう (現在の赤レンガ倉庫周辺一帯の埠頭) が出来上がり、大栈橋も改修されましたので、生糸などの貿易を行う近代的な港湾に整備されました。

4 貨物用鉄道の整備

鉄道が各地の養蚕・製糸業地帯に敷設されていったことは、本紙 2011 年 1 月号「横浜への絹の道」に記述しました。

このように各地に鉄道が整備されていくと、各生糸生産地から輸出用生糸が東海道線横浜駅や横浜駅近隣の駅に大量に送り込まれてくるようになり、この荷捌きが大きな課題となり改善が必要になりました。

このため、港湾整備と併せて貨物鉄道の整備も進められました。

大正 4 年 12 月には貨物専用の東海道線程ヶ谷駅 (現在の JR 保土ヶ谷駅) — 高島駅 — 東横浜駅 (現在の JR 桜木町駅に隣接) の高島線が開業し、横浜生糸検査所の近くまで生糸輸送ができるようになりました。更に、大正 6 年 6 月には東神奈川駅 (現在の JR 東神奈川駅) や鶴見駅 (現在の JR 鶴見駅) と高島駅間が結ばれましたので、各地の生糸を積んだ貨車は、程ヶ谷・東神奈川・鶴見のいずれの駅からでも東横浜駅に輸送で



(写真 37) 現在の赤レンガ倉庫



(写真 38) 現在の象の鼻パーク
(平成 21 年 6 月 2 日開園日に撮影)

きるようになりました。

更に大正 9 年 7 月には、東横浜駅—横浜港駅間（横浜臨港線）が開通し、貨物も人も新港埠頭まで輸送できるようになり、大変便利になりました。

昭和 3 年 3 月には、東横浜駅から帝蚕倉庫まで貨物線が敷設され、各産地からの生糸は倉庫に横づけされる便利な時代を迎えました。

5 新港埠頭からの生糸輸出

大型船が接岸でき、鉄道交通網も整備された新港埠頭は、生糸をはじめ多くの輸出品が積出され、多量の輸入品が取扱われるようになりました。

現在の新港埠頭にある赤レンガ倉庫 2 棟は、この工事の一環として整備されたもの

で、1911（明治 44）年と 1913（大正 2）年に完成しました。

港湾整備の第 2 期工事は総額 1,045 万円余を投入して整備されましたが、その後も改修工事が必要になり、平成に至るまで港湾の整備は、しばしば行われてきました。

新港埠頭は写真 36 のように、現在の赤レンガ倉庫（写真 37）を含めたこの海辺周辺の広いエリアが整備されたのです。

なお、横浜開港 150 周年（2009 年）を迎えるにあたり、わが国から諸国への「海のシルクロード」の起点であった象の鼻部分をはじめ、旧西波止場一帯の約 4 ヘクタールは、「象の鼻パーク」として整備され、平成 21（2009）年 6 月 2 日開園（写真 38）され、市民や来浜者の憩いの場所に生まれ変わりました。

イベント情報

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
<p>○第 27 回 KSS 健康フォーラム</p>	<p>講演:</p> <p>1. 「食品機能性研究にもとめられるもの・・・医農工連携による健康増進」</p> <p>(独) 農研機構食品総合研究所 食品の機能研究領域長 日野 明寛</p> <p>2. 「ファイトケミカル(植物由来機能成分)の食理作用について」</p> <p>東京農工大学大学院農学研究 院 栄養生理化学研究室 教授 矢ヶ崎 一三</p> <p>3. 「エネルギーミニマム型高分子形成システム技術・・・カイコの絹糸作り・・・」</p> <p>科学技術振興機構 戦略的創 造研究推進事業チーム長 理学博士 馬越 淳</p>	<p>平成 24 年 3 月 21 日(水) 午後 1:10~5:00</p>	<p>・開催場所 東京都中小企業 振興公社 3F 第 4 会議室</p> <p>東京都千代田区神田 佐久間町 1-9 Tel. 03-3257-0741</p> <p>・参加費 会員:無料(同伴者: ¥1,000 円/人) 非会員:2,000 円</p> <p>・参加申込み先</p> <p>絹・蚕・桑多目的 利用協議会事務局 (有)プロザテック内 富田次男 千葉県若葉区貝塚町 1099-3 Tel. 043-234-2631 Fax. 043-234-2632 E-mail: prozateq@tr ad.ocn.ne.jp</p> <p>・申込み締切り 3 月 10 日(土)</p>

<p>○千總コレクション 「日本を寿ぐ」</p>	<p>千總コレクションの中から、めでたい文様や図柄の小袖などを展示。</p> <p>モチーフとなる動植物の性質や名前の響きに、吉祥の意味を重ねて不老長寿や子孫繁栄を願った作品である。</p> <p>これらの作品を、日本を象徴する赤、白、黒、金の4つの色に分けて紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月11日(日)には、学芸員による、「ギャラリートーク」が開催される。 <p>入場料：無料</p>	<p>平成24年 3月20日(火) まで</p> <p>開館時間 午前10時～ 午後7時</p> <p>(水曜休館)</p>	<p>会場・主催 「千總ギャラリー」</p> <p>京都市中京区、 千總本社ビル 2階</p> <p>TEL. 075-211-2531</p>
<p>○日本絹の里 第8回 「工芸展」</p>	<p>工芸作家と日本絹の里友の会会員による作品を展示し、絹や繭の魅力を紹介する展示会です。</p> <p>観覧料：一般200円 大高生100円 中学生以下無料</p>	<p>平成24年 3月18日(日) ～4月16日 (月)</p> <p>AM9:30～PM5:00 (火曜日、休館) 3月20日は開館、 翌21日は休館。</p>	<p>会場・主催 群馬県立 「日本絹の里」</p> <p>〒370-3511 群馬県高崎市金古 町888-1 Tel. 027-360-6300</p>

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

平成 23 年 12 月 19 日現在

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
1	株式会社 千總	後染反物（訪問着、付下、色無地、振袖、喪服、黒留袖）、裏絹（胴裏）
2	株式会社 織匠田歌	先染反物、帯地（染帯）
3	有限会社 ミラノリブ	洋装品（婦人服（トップス、ボトム）、ソックス、ショール、ストール、スカーフ、ネクタイ、ニットタイ、ベスト）
4	株式会社 丸上	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、帯地（後染）
5	株式会社 坂本屋	後染反物（色無地）、裏絹（胴裏（灰汁浸け加工））
6	有限会社 平原	後染反物（色無地、黒紋付）
7	株式会社 信盛堂	後染反物（色無地、黒紋付）
8	株式会社 きものアイ	後染反物（色無地）
9	株式会社 上庵	後染反物（色無地、黒紋付）
10	有限会社 樹	後染反物（色無地、黒紋付）
11	株式会社 銀座もとじ	白生地、後染反物、先染反物（大島紬、結城紬、染織作家作品、御召）、八掛、和装小物（帯締、羽織紐）、帯地
12	河瀬満織物 株式会社	帯地（先染）
13	有限会社 織匠小平	帯地（先染）
15	株式会社 結華	後染反物（色無地、黒紋付）
16	有限会社 絹回廊	後染反物（色無地）
17	有限会社 琴路屋	後染反物（色無地、黒紋付）
18	有限会社 大善屋呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）、帯地（後染）
19	丸善本店	後染反物（色無地、黒紋付）
20	呉服のささき	後染反物（色無地、黒紋付）
21	日本蚕糸絹業開発協同組合	白生地（世紀21）、後染反物（作家もの、黒紋付）、裏絹（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200（灰汁浸加工、トルマリン加工）、五ツ星（ぐんま200、よろこび、世紀21））、八掛、比翼地、長襦袢地、和装小物（襦袢）、裏衣（うぶ着、おくるみ）、帯地（うるし糸5%を超えるもの）
22	宮階織物 株式会社	先染反物、後染反物
23	21世紀の絹を考える会	後染反物（色無地、訪問着）、帯地（袋帯（草木染、唐織、先染））
24	碓氷製糸農業協同組合	白生地、洋装品（マフラー）
25	丸幸織物 有限会社	白生地
26	織匠万勝	帯地、先染反物、後染反物
27	有限会社 織道楽塩野屋	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー・腹巻、手袋・靴下））
28	株式会社 丸万中尾	後染反物（変一越（江戸小紋、友禅、色無地）、紋意匠（江戸小紋、色無地、友禅）、帯地（後染）
29	株式会社 むらかね	後染反物（色無地、黒紋付）
30	株式会社 高島屋	後染反物（振袖、七五三着物、色無地）、長襦袢
31	株式会社 さが美	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
32	有限会社 まるけい	後染反物（色無地、黒紋付）
33	有限会社 特選呉服専門店後藤	後染反物（色無地、黒紋付）
34	株式会社 小いけ	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
35	株式会社 伊と幸	後染反物（色無地）、白生地（色無地）、裏絹（胴裏）、帯地（後染）
36	株式会社 四季のきもの おおにし	後染反物（色無地、黒紋付）帯地（後染）
37	株式会社 和幸	後染反物（色無地、黒紋付）
38	株式会社 樹屋高尾	帯地（袋帯）
39	株式会社 つるや	後染反物（色無地、黒紋付）
40	株式会社 越後屋	後染反物（色無地、黒紋付）

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
41	株式会社 小倉商店	白生地（結城紬）、先染反物（結城紬）、帯地（結城紬）
42	染織家 柳 崇	先染反物、帯地
43	染織家 児玉京子	先染反物
44	草木染工房山村	先染反物、帯地、ストール
45	手織り よおん	先染反物、帯地
46	祝嶺染織研究所	先染反物、帯地
47	株式会社 龍工房	和装小物（組紐）
48	からん工房	先染反物（紋紬、紺）、帯地
49	たわた工房	先染反物、帯地
50	山音 株式会社	後染反物（色無地（変三越、駒紬））
51	やまと 株式会社	後染反物
52	株式会社 御菌織物	先染反物、帯地
53	桜井 株式会社	帯地（先染）
54	有栖川織物 有限会社	帯地（先染）
55	太田和 株式会社	先染反物（結城紬）、帯地（結城紬）
56	株式会社 岩田	帯地（先染）
57	有限会社 神原呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）
58	浅山織物 株式会社	帯地（先染）
59	株式会社 やまと	帯地（先染）、帯地（金銀糸5%を超えるもの）
60	田中種 株式会社	後染反物（小紋（紋意匠））、帯地（九寸名古屋帯）
61	株式会社 京扇	後染反物（色無地）、胴裏絹（パールトーン加工）
62	株式会社 なごみや	後染反物（色無地、黒紋付）
63	丸池藤井 株式会社	後染反物（色無地）、八掛
64	久保商事 株式会社	和装小物（帯揚、半衿）
65	加賀グンゼ 株式会社	裏絹（胴裏）
66	千切屋 株式会社	後染反物（訪問着、付下）、帯地
67	荒川 株式会社	和装小物（帯ヅ、帯揚）
68	第一衣料 株式会社	後染反物（色無地）
69	株式会社 紅輪	後染反物（色無地）
70	装いの道 株式会社	裏絹（胴裏（トルマリン加工、灰汁浸け加工、ぐんま200、ぐんまレピア、新小石丸））、後染反物（本藍染、江戸更紗、京友禅）、白生地、帯地（後染）
71	株式会社 高橋屋	裏絹（胴裏（灰汁浸け加工））
72	おお又 株式会社	裏絹（胴裏（灰汁浸け加工））
73	株式会社 天野屋呉服店	裏絹（胴裏（ぐんま200（灰汁浸け加工））、白生地
74	株式会社 きもの潮見	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
75	株式会社 とみひろ	裏絹（胴裏（ぐんま200（酵素精練））
76	株式会社 細安	裏絹（胴裏（ぐんま200（酵素精練））
77	京和きもの 株式会社	裏絹（胴裏（ぐんま200（酵素精練））
78	株式会社 まるため	裏絹（胴裏（トルマリン加工、パーリー加工））
79	株式会社 小川屋	裏絹（胴裏（ぐんま200（トルマリン加工、灰汁浸け加工））
80	株式会社 エムラ	裏絹（胴裏（酵素精練））
81	株式会社 荒井呉服店	裏絹（胴裏（酵素精練））
82	株式会社 牛島屋	裏絹（胴裏（酵素精練））

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
83	株式会社 谷呉服店	裏絹（胴裏（酵素精練））
84	株式会社 登美屋	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
85	株式会社 川平屋	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
86	丸専第一衣料 株式会社（丸専きもの）	裏絹（胴裏（パールトーン加工））
87	株式会社 大丸松坂屋百貨店	裏絹（胴裏、比翼（振袖用））、長襦袢
88	西陣織工業組合	洋装品（マフラー）
89	株式会社 あきやま	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
90	藤井絞 株式会社	後染反物（色無地）
91	株式会社 川まん	白生地
92	有限会社 結城屋	白生地
93	株式会社 ウメショウ	白生地
94	株式会社 大徳	後染反物（色無地）
95	有限会社 カシワギ	寝具寝装品（冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット）、洋装品（スカーフ、ストール、ネクタイ、シャツ、スーツ）
96	株式会社 北尾織物匠	帯地（袋帯、名古屋帯）
97	株式会社 平田組紐	帯締、帯締（金銀糸5%を超えるもの）、羽織紐（男物、女物）
98	株式会社 菱健	後染反物（色無地）
99	西野 株式会社	帯締、帯締（金銀糸5%を超えるもの）
100	京商 株式会社	後染反物（色無地、黒紋付）
101	株式会社 猪井	後染反物
102	株式会社 たちばな	後染反物
103	株式会社 丸富美	後染反物（色無地）
104	株式会社 絹もの屋まつなが	後染反物（色無地）
105	株式会社 山正山崎	後染反物（色無地）
106	有限会社 こくぶん呉服店	後染反物（色無地）
107	株式会社 染織近藤	後染反物（色無地）
108	株式会社 宮川呉服店	後染反物（色無地）
109	株式会社 和らいふ	後染反物（色無地）
110	有限会社 きものいなもと	後染反物（色無地）
111	株式会社 世きね	後染反物
112	株式会社 西陣まいづる	帯地（袋帯（金銀糸5%を超えるもの））
113	奥順 株式会社	先染反物（結城紬）、帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリット）
115	有限会社 金屋	後染反物（色無地）
116	株式会社 鶴屋百貨店	裏絹（胴裏（酵素精練））
117	黄八丈めゆ工房	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	後染反物（色無地）
119	合資会社 車屋呉服店	後染反物（色無地、小紋）
120	宮崎 株式会社	結城紬
121	有限会社 内海呉服店きもの千歳屋	白生地
122	長島繊維 株式会社	後染反物（色無地、帯）
123	株式会社 しょう美	後染反物（色無地）
124	合資会社 治田呉服店	後染反物（色無地）
125	株式会社 丸十	後染反物（小紋）

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
126	株式会社 竹田嘉兵衛商店	裏絹（胴裏（酵素精練））
127	有限会社 樋口屋京染店	白生地（紋意匠）
128	大門屋	白生地（牛首紬）、帯地（後染（牛首紬））
129	株式会社 加藤萬	和装小物（帯揚、半衿）
130	株式会社 しゃらく	後染反物（小紋）
131	合資会社 山中商店	後染反物（小紋）
132	きもの処 あだち	後染反物（小紋）
133	西川産業 株式会社	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房 華美	寝衣（長肌着、短肌着）
135	株式会社 青山みとも	裏絹（胴裏（酵素精練））
136	株式会社 和想	後染反物（小紋）
137	株式会社 高島屋呉服店	後染反物（小紋）
138	富岡シルクブランド協議会	和装小物（禪）、洋装品（ネクタイ）
139	株式会社 丸年呉服店	後染反物（小紋）
140	株式会社 染織館	後染反物（小紋）
141	株式会社 京ろまん	後染反物（小紋）
142	五嶋 株式会社	和装小物（帯締）
143	株式会社 わふくや	長襦袢地
144	株式会社 布屋呉服店	裏絹（胴裏（トルマリン加工））、後染反物（小紋）
145	有限会社 明石屋	後染反物（色無地）、帯地（後染）
146	宮井 株式会社	和装小物（風呂敷）
147	株式会社 ナカノ	後染反物（小紋）
148	株式会社 芦田呉服店	後染反物（色無地、小紋）
149	株式会社 甲斐絹座	服飾品（スカーフ、ネクタイ）
150	有限会社さいとう呉服店	後染反物（色無地、付下）
151	株式会社西松屋	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	株式会社西尾呉服店	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物 株式会社	帯地（金銀糸5%を超えるもの）
154	有限会社 石川	後染反物（型友禪、羽二重色無地）、先染反物
155	東朋 株式会社	服飾品（ストール）
156	那覇伝統織物事業協同組合	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	株式会社 ふじや	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））

蚕糸関係博物館一覽

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館“紫”(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 (財) 日本きもの文化協会	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
浦野染織資料博物館	393-0066	長野県諏訪郡下諏訪町曙町 5350	0266-27-8503
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
まゆの資料館	410-3612	静岡県賀茂郡松崎町宮内 263-2	0558-42-3912
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物館	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館)	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉淵町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇 (田勇機業株式会社)	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
シルク染め織り館	699-5216	鳥根県鹿足郡津和野町池村 1997-4	0856-74-0784

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(社) 日本絹業協会 (シヤパ[®]シルクセンター)
(社) 日本生糸問屋協会
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工艺品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://homepage1.nifty.com/nittonkyo/>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.taafs.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>

(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>

(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>

(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>

(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>

(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html

(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>

(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department/bio/biofunc/index.html>

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会

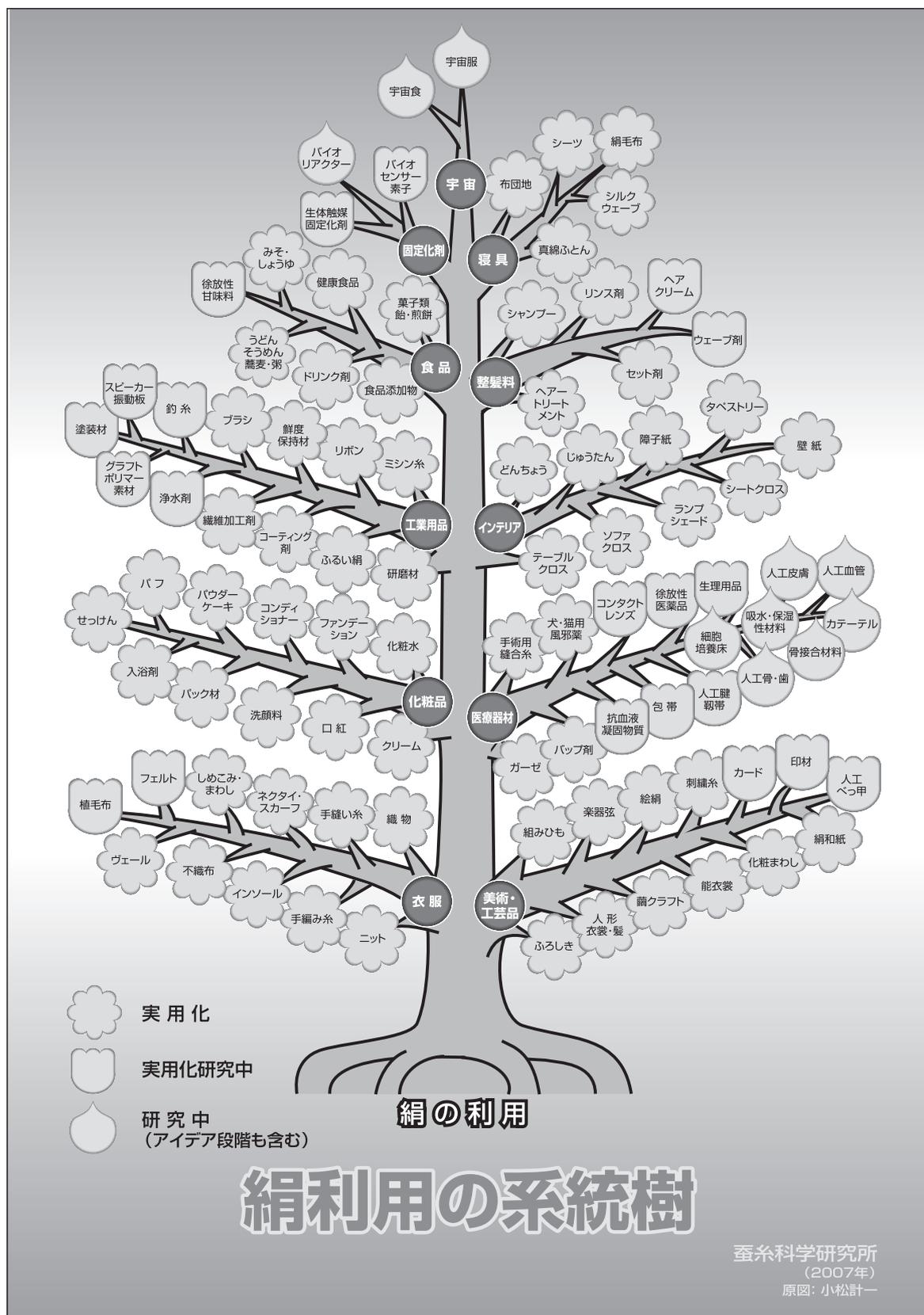
<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/jsss2/>

【博物館】

(財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

絹にはこんなにいろいろな使い道があります。



統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	43
(2) 養蚕業の概要	44
(3) 養蚕農家数の推移	45
(4) 収繭量の推移	46
(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量（2008年）	47
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移（2008～2010年）	48
(7) 平成22年度蚕期別、都府県別繭生産数量	49
(8) 平成22年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	50
(9) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	51
(10) 生糸の織度別生産数量の推移	52
(11) 国産生糸価格実態	54
(12) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	55
(13) 品目別絹二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	56
(14) 製糸工場の原料繭需給	57
(15) 製糸工場の操業状況	58
(16) 生糸在庫数量の内訳	59
(17) 蚕糸関係品目別輸入数量	60
(18) 生糸の原産国別輸入数量	61
(19) 絹糸の原産国別輸入数量	62
(20) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	63
(21) 絹織物生産数量	64
(22) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	65
(23) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	66

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	67
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	68
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	69
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	70
(5) 中国のシルク類（生糸・絹糸・絹織物）の輸出状況	71
(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	72
(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	73
(8) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	74
(9) 中国省別従業員年平均賃金（2009年）	75
(10) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	76
(11) ブラジルの繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況	77

— 資料・国内 —

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
年次 (暦年) Calendar year	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
1994 6年	19,040	7,724	406	64.5	39	69	102.7	61,653
1995 7年	13,640	5,350	392	53.4	29	63	94.2	54,131
1996 8年	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
1997 9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1998 10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1999 11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
2000 12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 20年	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2009 21年	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2010 22年	753	265	352	0.9	7	49	35.9	11,659
前年対比 (%) 2010/09	82.3	81.0	98.6	75.0	100.0	81.7	106.8	101.6

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機物工業会調査である。
 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕業の概要

Outline of Sericultural Industry

項目 Item	養蚕農家数	桑栽培面積	桑使用面積	蚕種 掃立卵量	1箱当り 収繭量	収繭量	1戸当り 栽培面積	1戸当り 掃立卵量	1戸当り 収繭量
	Farm house- holds raising silk-worm	Growing area of mulberry	Harvested area of mulberry	Silk-worm eggs used 1,000cases	Cocoon production per box of silk-worm eggs used kg	Cocoon production t	Growing area of mulberry per farm household raising silk-worm a	Box of silkworm eggs used per farm household raising silk-worm 箱	Cocoon production per farm household raising silk-worm kg
年次 Year	戸 number	100ha	100ha	1000箱 1,000cases	kg	t	a	箱 box	kg
1993	27,200	425	239	319	35	11,212	156	12	412
1994	19,000	339	173	228	34	7,724	178	12	406
1995	13,600	263	117	155	35	5,350	193	11	392
1996	7,890	193	66	87	35	3,021	244	11	382
1997	6,310	138	54	74	34	2,516	219	12	399
1998	5,070	103	44	60	33	1,980	203	12	390
1999	4,030	74	33	45	33	1,496	184	11	371
2000	3,280	59	27	37	33	1,244	179	11	379
2001	2,730	48	23	31	34	1,031	174	11	378
2002	2,360	43	22	26	34	880	182	11	373
2003	2,070	38	19	23	33	780	185	11	374
2004	1,850	34	18	21	38	683	186	11	369
2005	1,591	30	16	18	34	626	188	12	396
2006	1,345	27	14	15	34	505	198	11	375
2007	1,169	24	12	13	35	433	202	11	371
2008	1,021	20	10	11	36	382	197	10	374
対前年比 2008/07 (%)	87.3	83.3	83.3	84.6	102.9	88.2	97.5	90.9	100.8

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、農林水産省生産局調査（2002～2008年）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001) .
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2002～) .

(3) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1993		27,180	24,160	17,450	20,740
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
対前年比 2008/07 (%)		87.3	88.3	84.4	86.7

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）。

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年) .

(4) 収繭量の推移
Cocoon Production

項目 Item 年次 Year	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm				桑使用面積 10a当たり 収繭量(年間) Cocoon production per farm harvested area of mulberry kg/10a
	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	
1993	11,212	4,624	3,060	3,529	412	191	175	170	47
1994	7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170	46
1995	5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172	46
1996	3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173	46
1997	2,516	982	678	857	398	174	153	167	46
1998	1,980	769	588	623	390	169	157	151	45
1999	1,496	596	391	509	371	166	144	155	46
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157	47
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161	47
2002	880	330	231	320	373	166	134	167	40
2003	775	313	210	253	374	167	140	144	40
2004	675	256	176	243	369	158	128	157	38
2005	626	243	165	218	396	171	156	162	40
2006	505	209	122	173	375	172	143	157	36
2007	433	175	110	148	371	166	152	150	37
2008	382	147	96	139	374	158	157	162	39
対前年比 2008/07 (%)	88.2	84.0	87.3	93.9	100.8	95.2	103.3	108.0	105.4
構成比 (%)	100.0	38.5	25.1	36.4					

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004) .
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年) .

(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量 (2008年)

Farm households raising silk-worm, Harvested area of mulberry and Cocoon production by prefectures in 2008

項目 Item 県別 Each Prefecture	年計 Annual total			春繭 spring silk-worm		初秋繭 Early autumn silk-worm		晩秋繭 late autumn silk-worm	
	養蚕 農家数	桑使用 面積	収繭量	養蚕 農家数	収繭量	養蚕 農家数	収繭量	養蚕 農家数	収繭量
	Farm households raising silk-worm	Harvested area of mulberry	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production
	number	ha	t	number	t	number	t	number	t
岩手 Iwate	29	30	11.0	22	2.8	21	4.0	26	4.2
宮城 Miyagi	39	37	13.0	28	4.6	28	3.8	32	4.5
山形 Yamagata	15	24	5.6	12	2.2	11	1.3	13	2.2
福島 Fukushima	104	116	51.3	99	18.1	33	14.2	89	19.1
茨城 Ibaragi	39	30	14.5	39	5.8	32	3.8	33	5.0
栃木 Tochigi	50	86	39.4	48	14.8	35	7.4	46	17.2
群馬 Gunma	417	471	161.2	383	63.2	249	40.9	370	57.2
埼玉 Saitama	97	75	32.8	93	12.1	74	8.7	83	12.0
千葉 Chiba	13	6	3.9	12	1.4	6	0.7	10	1.8
神奈川 Kanagawa	12		2.3	11	0.9	9	0.6	12	0.9
山梨 Yamanashi	34	26	11.7	30	5.6	15	2.3	22	3.8
長野 Nagano	46	32	13.2	42	5.4	37	3.4	35	4.4
岐阜 Gifu	28	12	4.4	24	2.1	13	0.5	22	1.7
徳島 Tokushima	23	10	4.6	22	2.4	13	1.0	16	1.2
愛媛 Ehime	22	19	7.6	16	2.8	21	2.5	18	2.4
熊本 Kumamoto	11	4	1.3	11	0.9	6	0.2	7	0.2
その他 Others	42	14	4.0	37	1.6	10	0.7	23	1.3
全国計 Total	1,021	992	381.8	929	146.7	613	96.0	857	139.1

資料：農林水産省生産局調査。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2008~2010年)

Production by Sort of Silk-worm Eggs

Item	Year	2008年		2009年		2010年	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号		4,023	28.2	4,803	34.9	3,420	26.3
錦秋 × 鐘和		2,700	19.0	2,400	17.5	2,400	18.5
春嶺1号 × 鐘月1号		2,410	16.9	1,565	11.4	2,072	15.9
ぐんま 200		1,832	12.9	1,622	11.8	1,627	12.5
春嶺 × 鐘月		900	6.3	900	6.5	1,001	7.7
かいりょう × あけぼの		355	2.5	442	3.2	487	3.7
新小石丸		313	2.2	317	2.3	355	2.7
芙蓉 × つくばね		300	2.1	300	2.2	300	2.3
上州絹星		191	1.3	204	1.5	51	0.4
世紀二一		176	1.2	218	1.6	191	1.5
緑繭1号		157	1.1	129	0.9	56	0.4
プラチナボーイ		147	1.0	71	0.5	73	0.6
朝日 × 東海		100	0.7	100	0.7		
朝日 × つくばね		100	0.7	100	0.7	100	0.8
ぐんま 黄金丸		92	0.6	117	0.9	152	1.2
改良小石丸		79	0.6	87	0.6	87	0.7
白繭細1号		71	0.5	60	0.4	115	0.9
小蚕技石丸		55	0.4	39	0.3	27	0.2
蚕技研10号		45	0.3				
蚕技研11号		39	0.3	54	0.4	26	0.2
蚕技研11号		28	0.2	61	0.4	53	0.4
分離白1号 × 支106号		18	0.1	9	0.1	8	0.1
白繭細2号		16	0.1	20	0.1		
新青白号		15	0.1	9	0.1	14	0.1
極細1号		13	0.1	21	0.2	30	0.2
玉小石山		12	0.1	33	0.2	16	0.1
鷹小石山		9	0.1	29	0.2	25	0.2
支21号 × 四川3眠		9	0.1	6	0.0	4	0.0
又昔 × 中515号		8	0.1	6	0.0	5	0.0
青熟 × 支21号		6	0.0	6	0.0	6	0.0
諸桂 × 紹興		6	0.0	4	0.0	4	0.0
黄		5	0.0	5	0.0	5	0.0
天竜青白 × 支108号		4	0.0				
青熟 × 中515号		3	0.0	2	0.0	3	0.0
鬼縮 × 中515号		3	0.0	4	0.0	1	0.0
青白 × 中515号		3	0.0				
山東三眠 × 中515号		2	0.0				
松岡 姫り						200	1.5
いろど						39	0.3
鐘光 × 黄玉						35	0.3
太平 × 長安						7	0.1
支108号 × 青熟				2	0.0	5	0.0
合計 Total		14,245	100.0	13,745	100.0	13,000	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source : The Dainippon Silk Foundation.

(7) 平成23年度蚕期別、都府県別繭生産量
Cocoon production by prefectures in 2011.

(単位：kg、%) 平成24年1月20日現在

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比
青森県	-	-	-	137.4	156.3	113.8%	144.7	119.3	82.4%	282.1	275.6	97.7%
岩手県	2,017.6	1,977.5	98.0%	2,783.7	2,318.9	83.3%	3,049.7	2,474.2	81.1%	7,851.0	6,770.6	86.2%
宮城県	2,755.5	2,127.1	77.2%	2,335.9	2,341.8	100.3%	3,046.5	2,248.6	73.8%	8,137.9	6,717.5	82.5%
山形県	1,649.3	1,315.2	79.7%	761.7	767.4	100.7%	1,254.4	1,638.3	130.6%	3,665.4	3,720.9	101.5%
福島県	12,488.4	11,519.5	92.2%	11,946.4	8,972.5	75.1%	16,645.2	13,617.0	81.8%	41,080.0	34,109.0	83.0%
茨城県	3,672.0	4,486.0	122.2%	2,653.6	2,323.2	87.5%	3,181.4	3,028.4	95.2%	9,507.0	9,837.6	103.5%
栃木県	12,003.5	11,488.4	95.7%	4,465.3	5,259.7	117.8%	14,350.8	9,370.2	65.3%	30,819.6	26,118.3	84.7%
群馬県	49,138.1	42,178.0	85.8%	23,357.1	18,729.3	80.2%	38,871.7	29,121.1	74.9%	111,366.9	90,028.4	80.8%
埼玉県	9,018.9	7,692.5	85.3%	4,968.6	3,308.7	66.6%	6,903.5	6,061.7	87.8%	20,891.0	17,062.9	81.7%
千葉県	1,263.6	1,168.6	92.5%	671.7	569.4	84.8%	1,310.9	1,113.4	84.9%	3,246.2	2,851.4	87.8%
東京都	543.1	386.0	71.1%	-	-	-	342.3	163.3	47.7%	885.4	549.3	62.0%
神奈川県	884.8	-	-	584.8	-	-	637.9	-	-	2107.5	-	-
山梨県	3,851.7	3,665.7	95.2%	1,170.0	805.7	68.9%	2,508.8	2,233.2	89.0%	7,530.5	6,704.6	89.0%
長野県	3,016.2	2,714.3	90.0%	2,212.9	1,765.0	79.8%	2,533.0	2,439.2	96.3%	7,762.1	6,918.5	89.1%
新潟県	-	186.4	-	46.6	54.3	116.5%	51.9	-	-	98.5	240.7	244.4%
福井県	-	62.4	-	-	21.2	-	-	23.0	-	-	106.6	-
岐阜県	1,351.3	1,086.0	80.4%	232.8	-	-	687.4	614.1	89.3%	2,271.5	1,700.1	74.8%
愛知県	120.9	64.1	53.0%	-	-	-	-	-	-	120.9	64.1	53.0%
兵庫県	83.5	42.0	50.3%	80.0	35.0	43.8%	66.0	-	-	229.5	77.0	33.6%
京都府	102.4	111.4	108.8%	97.5	-	-	40.6	93.3	229.8%	240.5	204.7	85.1%
愛媛県	2,172.3	1,991.7	91.7%	1,183.1	1,350.5	114.1%	1,671.9	1,482.3	88.7%	5,027.3	4,824.5	96.0%
高知県	280.4	228.4	81.5%	-	-	-	128.1	86.7	67.7%	408.5	315.1	77.1%
熊本県	543.4	431.9	79.5%	-	-	-	271.6	91.8	33.8%	815.0	523.7	64.3%
宮崎県	136.6	115.9	-	-	-	-	62.7	67.3	107.3%	199.3	183.2	91.9%
鹿児島県	-	1.5	-	-	-	-	-	6.6	-	-	8.1	-
全国計	107,093.5	95,040.5	88.7%	59,689.1	48,778.9	81.7%	97,761.0	76,093.0	77.8%	264,543.6	219,912.4	83.1%

資料：(財)大日本蚕糸会調査

Source: The dainippon Silk Foundation

(8) 平成22年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2010.

平成23年12月現在、大日本蚕糸会調査（単位：戸、％）

都府県名	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比
青森県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	21	15	71.4	23	23	100.0	28	23	82.1	33	27	81.8
秋田県	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
宮城県	30	21	70.0	23	17	73.9	33	21	63.6	37	28	75.7
山形県	11	10	90.9	10	9	90.0	11	9	81.8	12	11	91.7
福島県	83	71	85.5	72	65	90.3	82	76	92.7	95	83	87.4
茨城県	33	18	54.5	28	20	71.4	24	20	83.3	33	37	112.1
栃木県	43	37	86.0	32	25	78.1	40	38	95.0	47	40	85.1
群馬県	336	288	85.7	290	216	74.5	330	278	84.2	373	310	83.1
埼玉県	72	63	87.5	57	48	84.2	68	59	86.8	79	68	86.1
千葉県	12	10	83.3	9	7	77.8	9	8	88.9	12	11	91.7
東京都	6	6	100.0	0	0	-	7	5	71.4	7	7	100.0
神奈川県	9	9	100.0	10	10	100.0	10	10	100.0	12	12	100.0
新潟県	15	0	-	2	1	50.0	3	1	33.3	15	1	6.7
山梨県	31	24	77.4	14	7	50.0	22	21	95.5	31	27	87.1
長野県	32	28	87.5	26	19	73.1	27	25	92.6	39	31	79.5
岐阜県	25	18	72.0	9	8	88.9	18	17	94.4	27	21	77.8
静岡県	1	0	0.0	1	0	-	1	0	-	1	0	-
愛知県	2	1	50.0	1	0	-	0	0	-	3	1	33.3
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	0	1	-	1	1	100.0
島根県	1	0	-	0	0	-	1	0	-	1	0	0.0
徳島県	16	0	-	12	0	0.0	13	0	-	16	0	-
愛媛県	17	17	100.0	19	15	78.9	17	19	111.8	22	19	86.4
高知県	4	4	100.0	0	0	-	3	3	100.0	5	5	100.0
熊本県	10	8	80.0	4	2	50.0	6	4	66.7	10	8	80.0
宮崎県	2	4	200.0	3	0	-	1	2	200.0	3	4	133.3
全国計	814	654	80.3	647	494	76.4	755	641	84.9	915	753	82.3

資料：全国農業協同組合連合会調査

Source: National Federation of Agricultural Co-operative Associations

(9) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,959	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,640	7,126
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	8,996	6,269
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	9,029	6,299
生糸年度 Silk Year									
2004	3,868	20,154	11,500	27,002	7,274	30,204	565	14,130	7,286
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010 -									
7	76	645	—	1,042	3,221	1,573	54	783	551
8	61	985	—	1,063	3,204	1,303	19	873	482
9	60	1,174	—	1,181	3,257	1,235	32	750	582
10	71	1,070	—	798	3,600	1,254	74	659	555
11	72	1,082	—	1,187	3,567	1,453	36	879	480
12	74	1,223	—	1,535	3,329	1,485	23	836	506
2011 -									
1	53	1,448	—	1,521	3,309	1,790	18	976	427
2	69	593	—	823	3,148	982	55	486	559
3	65	1,381	—	1,031	3,563	1,858	15	769	599
4	70	372	—	851	3,154	1,674	15	741	562
5	66	1,280	—	1,501	2,999	1,797	17	910	440
6	63	760	—	890	2,932	1,731	30	762	667
7	57	489	—	680	2,872	1,489	29	770	457
8	53	547	—	590	2,882	1,498	47	706	443
9	61	420	—	932	2,431	1,340	45	610	568
10	56	765	—	790	2,462	1,165	78	515	530
11	64	550	—	820	2,256	1,202	47	656	469

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on data of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(10) 生糸の織度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year						
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
2009	1,152	1	243	392	251	262
2010	882	1	179	316	86	300
生糸年度 Silk Year						
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2008	1,378	1	291	447	280	360
2009	1,029	0	205	358	208	242
2010 -						
6	77	—	7	36	—	34
7	76	—	11	32	2	31
8	61	—	12	24	1	24
9	60	—	29	9	7	15
10	71	—	12	27	5	27
11	72	1	6	31	—	34
12	74	0	7	24	8	35
2011 -						
1	53	—	27	12	4	10
2	69	—	16	23	5	25
3	65	—	18	15	10	22
4	70	—	13	22	7	28
5	66	—	18	18	6	24
6	63	—	11	29	7	16
7	59	—	13	23	—	23
8	53	1	9	24	6	13
9	59	—	15	23	6	17
10	56	—	23	14	12	7
11	64	—	6	37	10	12

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(11) 国産生糸価格実態

Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円／k g
(Unit : Yen/k g)

Year & Month	Size	21d	27d	31d	平均 Average
2005		3,870	3,173	3,107	3,383
2006		4,617	4,267	4,080	4,321
2007		3,961	3,625	3,573	3,720
2008		4,266	3,754	3,489	3,836
2009		4,171	3,598	3,136	3,635
2010		4,152	3,891	3,564	3,864
2010 -	6	4,192	3,867	3,729	3,929
	7	4,000	3,883	3,600	3,828
	8	4,256	3,893	3,814	3,988
	9	4,209	3,965	3,625	3,933
	10	4,231	4,106	3,833	4,057
	11	4,338	4,149	3,942	4,143
	12	4,329	4,336	4,002	4,222
2011 -	1	4,267	4,267	4,127	4,220
	2	4,763	4,737	5,400	4,967
	3	4,800	4,619	4,556	4,658
	4	4,942	4,593	4,865	4,800
	5	5,188	4,699	4,853	4,913
	6	5,200	5,035	4,750	4,995
	7	5,600	5,109	5,327	5,345
	8	5,602	5,106	5,586	5,431
	9	5,778	5,237	6,078	5,698
	10	5,455	5,282	5,872	5,536
	11	5,733	5,138	5,657	5,509
	12	5,800	5,257	6,043	5,700

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料：(社)日本生糸問屋協会

Remarks : Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source : Japan Raw Silk Dealer's Association

(参考) 中国生糸電子取引値段

China Raw Silk Monthly Prices of Electric Contract Traded

生糸B類(21デニール3A)
Standard Raw Silk:21d 3A

上段単位:元/kg、下段:円/kg
(Upper Sec Unit:Yuan/kg,Lower Sec Unit:Yen/kg)

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
12月中	12月	元	303.30	301.13	309.68	306.60
		円	3,943	3,915	4,026	3,986
	1月	元	298.65	294.75	306.98	300.45
		円	3,882	3,832	3,991	3,906
	3月	元	297.83	293.10	305.93	298.73
		円	3,872	3,810	3,977	3,883
	4月	元	298.05	293.40	305.63	299.03
		円	3,875	3,814	3,973	3,887
	5月	元	296.93	292.43	306.23	298.28
		円	3,860	3,802	3,981	3,878
	6月	元	295.88	291.60	304.95	298.73
		円	3,846	3,791	3,964	3,883
	7月	元	291.38	290.18	297.23	294.45
		円	3,788	3,772	3,864	3,828
	9月	元	300.30	294.60	300.30	294.60
		円	3,904	3,830	3,904	3,830
	11月	元	293.18	291.23	299.70	295.73
		円	3,811	3,786	3,896	3,844

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
1月中	1月	元	296.55	295.05	298.80	298.43
		円	3,855	3,836	3,884	3,880
	3月	元	295.20	292.65	297.68	296.78
		円	3,838	3,804	3,870	3,858
	4月	元	290.63	288.68	292.73	291.98
		円	3,778	3,753	3,805	3,796
	5月	元	289.65	287.55	291.15	290.10
		円	3,765	3,738	3,785	3,771
	6月	元	286.50	284.63	287.40	286.13
		円	3,725	3,700	3,736	3,720
	7月	元	286.58	284.33	287.48	286.05
		円	3,725	3,696	3,737	3,719
	8月	元	285.83	283.58	286.80	285.38
		円	3,716	3,686	3,728	3,710
	9月	元	285.23	282.68	287.40	286.05
		円	3,708	3,675	3,736	3,719
	11月	元	283.80	281.25	284.85	283.13
		円	3,689	3,656	3,703	3,681

円換算レートは、1元=13.00円である。

資料: 中国繭絲綢交易市場(浙江省嘉興)

Remarks: Rate 1Yuan = 13.00Yen

Source: China Silk Exchange (Zhejiang Sheng Jia Xing)

(12) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000Bales of
60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④						期末 在庫 Ending Stocks ④	
	期初 在庫 Opening Stocks	生産 Produc- tion	輸入 Import					輸出 Export					内需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second	計 ③ Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	152	16	0	0	15	1	136	43
対前年比 2010/09(%)	95	75	100	102	100	100	107	102	80	100	—	—	100	100	78	91

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)
After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(13) 品目別・二次製品輸入数量 (生糸量換算試算)

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000 Bales of 60kg)

項目 Item	暦年 Calendar Year	2005	2006	2007	2008	2009	2010	前年比%	構成比%
								y/y	ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments	2.7	3.7	3.9	2.5	1.8	2.8	155.6	2.1
	女子用外衣類 Women's upper garments	59.9	56.6	50.0	40.2	37.1	38.4	103.5	28.9
	うちブラウス Blouse of the inside	3.7	3.5	3.0	3.4	2.8	2.4	85.7	1.8
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth	5.8	5.7	2.2	1.6	1.1	1.0	90.9	0.8
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth	16.1	15.1	15.0	16.3	13.5	13.9	103.0	10.5
	ハンカチ Handkerchief	1.9	1.0	0.5	0.5	0.4	0.3	75.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves	3.4	2.7	3.0	2.9	2.5	2.2	88.0	1.7
	ネクタイ類 Ties	25.2	21.4	21.6	20.8	18.2	18.1	99.5	13.6
	メリヤス、クロセス編物 Knit. kurose knitting	19.9	18.5	21.2	19.8	15.9	17.9	112.6	13.5
	その他の洋装類 Other western clothes	26.7	26.3	25.4	23.7	22.0	21.0	95.5	15.8
洋装類計 Western clothes subtotal	161.6	151.0	143.0	128.3	112.4	115.6	102.8	86.9	
和装類計 Japanese clothes subtotal	17.4	18.4	15.5	14.7	15.9	14.5	91.2	10.9	
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside	14.1	16.0	12.9	12.1	13.9	12.5	89.9	9.4	
その他 Others	2.1	2.5	2.5	2.4	1.9	2.9	152.6	2.2	
合計 Total	181.0	171.9	161.0	145.4	130.2	133.0	102.2	100.0	

資料：財務省「日本貿易月報」により(社)日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note: Total may not added up due to round off.

(14) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2005	866	830	589
	2006	600	646	541
	2007	548	581	505
	2008	393	518	379
	2009	308	385	313
	2010	241	300	263
生糸年度 Silk Year				
	2005	839	673	390
	2006	562	599	349
	2007	502	583	266
	2008	406	452	224
	2009	324	337	209
	2010	260	281	188
Year	Month			
2010	— 5	0	26	209
	6	54	30	233
	7	14	23	224
	8	70	19	275
	9	0	22	253
	10	80	24	309
	11	8	24	293
	12	1	31	263
2011	— 1	27	17	273
	2	5	23	255
	3	0	22	233
	4	1	24	210
	5	0	22	188
	6	46	21	213
	7	36	20	229
	8	34	20	243
	9	13	21	235
	10	41	20	256
	11	19	21	254

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding

(15) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
2005		10	203	126	62	269	111
2006		9	114	94	82	266	103
2007		8	112	93	83	266	100
2008		7	112	90	80	266	90
2009		7	118	71	60	259	82
2010		7	118	58	49	247	73
2009 —	11	7	118	74	63	21	81
	12	7	118	71	60	21	82
2010 —	1	7	118	79	67	20	81
	2	7	118	77	65	21	80
	3	7	118	80	68	22	80
	4	7	118	79	67	20	90
	5	7	118	75	64	21	91
	6	7	118	74	63	22	84
	7	7	118	75	64	17	84
	8	7	118	76	64	18	79
	9	7	118	72	61	22	79
	10	7	118	76	64	22	79
	11	7	118	73	62	21	79
	12	7	118	58	49	21	73
2011 —	1	7	118	58	49	20	67
	2	7	118	58	49	21	63
	3	7	118	60	51	23	62
	4	7	118	55	47	21	66
	5	7	110	55	50	20	64
	6	7	110	52	47	21	60
	7	7	110	55	50	22	56
	8	7	110	53	48	20	64
	9	7	110	64	58	21	65
	10	7	110	57	52	21	66
	11	7	110	55	50	21	66

資 料：農林水産省生産局調査（～2010.3）。中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010.4～）。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(16) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	総計	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
生糸年度 Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,158	4,158	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2010 — 2	3,818	3,818	351	10	2,961	496			
3	3,650	3,650	342	0	2,863	445			
4	3,229	3,229	355	0	2,478	396			
5	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
6	3,542	3,542	343	0	2,644	555			
7	3,221	3,221	334	0	2,441	446			
8	3,204	3,204	340	0	2,365	499			
9	3,257	3,257	331	0	2,422	504			
10	3,600	3,600	328	0	2,646	626			
11	3,567	3,567	331	0	2,628	608			
12	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011 — 1	3,309	3,309	292	0	2,388	629			
2	3,148	3,148	284	0	2,219	645			
3	3,563	3,563	288	0	2,511	764			
4	3,154	3,154	288	0	2,182	684			
5	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
6	2,932	2,932	213	0	2,110	609			
7	2,872	2,872	229	0	2,095	548			
8	2,882	2,882	243	0	2,168	471			
9	2,431	2,431	281	0	1,729	421			
10	2,462	2,462	273	0	1,664	525			
11	2,256	2,256	282	0	1,559	415			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

(17) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成18年~23年11月)
Breakdown of Silk-Related Products Imports (2006~Nov. 2011)

	単位 Unit	平成23年(2011)		平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	22年/21年 2010/09 (%)
		(11月) Nov.	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	550	7,840	12,209	12,085	15,242	12,858	21,148	101.0
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	1,202	15,356	16,306	16,647	22,636	19,439	31,524	98.0
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	—	—	82	149	317	333	430	55.0
繭 Cocoon	kg	0	2,800	13,158	9,800	4,000	13,750	18,565	134.3
真綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	29,071	28,660	34,176	—
ペニール Peigne	kg	—	—	—	35,331	2,770	6,336	19,760	—
くず繭 Waste Cocoon	kg	455	7,380	9,395	33,450	23,770	17,184	1,020	28.1
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	202,220	242,082	234,894	—
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	45,247	108,258	134,852	103,122	193,125	238,507	255,951	130.8
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	45,702	115,638	144,247	171,903	450,956	532,769	545,801	83.9
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	72,102	359,040	451,219	335,710	526,662	608,270	756,065	134.4
絹紡糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	7,420	87,222	104,374	97,554	143,585	117,265	208,913	107.0
絹織物 Silk Fabrics	m ²	655,533	7,385,640	9,029,003	8,996,010	11,540,335	11,355,333	12,989,059	100.4

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(18) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg 俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
		Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦年 Calendar Year							
2008		15,242 (137)	11,024 (102)	4,101 (35)	-	117 (-)	-
2009		12,085 (72)	8,169 (51)	3,855 (21)	11 (-)	50 (-)	-
2010		12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	0	77	-
生糸年度 Silk Year							
2008		12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009		12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010		12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2010	- 3	1,182 (5)	639	512 (5)	-	31	-
	4	612	449	163	-	-	-
	5	1,532 (20)	1,082 (10)	450 (10)	-	-	-
	6	919 (4)	681	237 (4)	-	1	-
	7	645 (5)	396 (5)	246	-	2	-
	8	985 (15)	790 (15)	176	-	19	-
	9	1,174	892	282	-	-	-
	10	1,070 (16)	670 (10)	400 (6)	-	-	-
	11	1,082	843	234	1	5	-
	12	1,223	651	572	-	-	-
2011	- 1	1,448 (13)	1,168 (10)	274 (3)	-	6	-
	2	593	521	72	-	-	-
	3	1,381 (15)	1,052 (10)	321 (5)	-	6	-
	4	372	316	56	-	-	-
	5	1,280 (11)	1,082 (11)	198	-	-	-
	6	760 (7)	416	344 (7)	-	-	-
	7	489	389	100	-	-	-
	8	547	292	254	-	-	-
	9	420	420	0	-	-	-
	10	765	491	272	-	3	-
	11	550	325	225	-	-	-

資料：財務省関税局調査

備考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks: 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(19) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
年月 Year&Month								
暦 年 Calendar Year								
2008	22,636	30	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009	16,647	—	9,655	5,096	10	—	1,742	144
2010	16,306	—	9,675	4,694	16	—	1,716	205
生糸年度 Silk Year								
2008	18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009	17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2009 — 8	1,646	—	842	664	—	—	140	—
9	1,525	—	911	447	4	—	106	58
10	1,664	—	808	563	0	—	293	—
11	1,525	—	800	604	—	—	120	0
12	1,423	—	1,021	170	—	—	202	30
2010 — 1	1,683	—	1,086	478	—	—	118	1
2	1,435	—	713	491	2	—	230	—
3	1,051	—	506	343	1	—	132	68
4	1,318	—	747	363	—	—	178	29
5	1,192	—	692	342	—	—	157	—
6	1,325	—	889	296	—	—	135	4
7	1,573	—	1,026	352	—	—	144	50
8	1,303	—	784	382	—	—	137	0
9	1,235	—	811	302	—	—	121	1
10	1,254	—	754	366	2	—	132	—
11	1,453	—	790	526	—	—	81	56
12	1,485	—	877	465	1	—	141	1
2011 — 1	1,790	—	1,108	543	—	—	139	—
2	982	—	559	312	—	—	110	—
3	1,858	—	1,244	467	2	—	134	10
4	1,674	—	1,124	448	2	—	99	1
5	1,797	—	1,151	468	1	—	109	68
6	1,731	—	906	628	—	—	197	—
7	1,489	—	910	432	0	—	155	—
8	1,498	—	730	432	10	—	225	—
9	1,340	—	745	543	1	—	51	—
10	1,165	—	542	309	—	—	243	—
11	1,202	—	672	297	—	—	232	—

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(20) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, Kg/円

項目 Item	輸入生糸（通関ベース）				輸入絹糸（通関ベース）					
	Raw Silk Imprt				Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
年月 Year & Month	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,513	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,169	2,740	3,855	3,059	9,655	2,840	1,742	3,611	5,096	3,034
2010	8,411	3,667	3,705	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,694	3,411
2010 - 9	892	3,696	282	3,866	811	3,760	121	4,405	302	3,517
10	670	3,834	400	3,620	754	3,928	132	4,317	366	3,507
11	843	3,983	234	3,650	790	3,984	81	4,161	526	3,478
12	651	4,225	572	3,906	877	4,277	141	4,503	465	3,918
2011 - 1	1,168	4,370	274	4,055	1,108	4,372	139	4,519	543	3,901
2	521	4,626	72	4,293	559	4,578	110	4,465	312	3,890
3	1,052	4,729	321	4,196	1,244	4,723	134	4,882	467	4,031
4	316	4,661	56	4,604	1,124	4,846	99	4,972	448	4,260
5	1,082	4,767	198	4,505	1,151	4,946	109	5,022	468	4,040
4	316	4,661	56	4,604	1,124	4,846	99	4,972	448	4,260
5	1,082	4,767	198	4,505	1,151	4,946	109	5,022	468	4,040
6	416	4,792	344	4,510	906	4,967	197	5,412	628	4,579
7	389	4,893	100	5,918	910	4,990	155	5,741	432	4,726
8	292	4,570	254	4,964	730	4,922	225	5,591	473	4,710
9	421	4,483	0	-	745	4,665	51	5,991	543	4,792
10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681

資料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau , Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(21) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000m²)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広巾織物 Double Width				小巾織物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先練 (先染) Dyed Yarn	
年月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	3,733	1,445	1,205	1,083	6,094	3,966	2,128	1,645
2010	11,659	3,790	1,471	1,224	1,095	6,201	4,034	2,167	1,668
2010 — 9	962	313	121	101	90	511	333	178	138
10	995	323	125	104	93	530	344	186	142
11	1,004	326	127	105	94	534	347	187	144
12	966	314	122	101	91	514	334	180	138
2011 — 1	814	311	196	15	99	347	142	205	156
2	873	333	210	16	106	372	152	219	168
3	902	345	217	16	110	384	157	226	173
4	989	378	238	18	121	421	172	248	190
5	840	321	202	15	102	358	146	211	161
6	911	348	220	17	111	388	159	229	175
7	834	318	201	15	102	355	145	209	160
8	778	297	188	14	95	332	135	195	150
9	788	301	190	14	96	336	137	198	151
10	821	314	198	15	100	350	143	206	158
11	879	336	212	16	107	374	153	221	169

資 料：(社)日本絹人織織物工業会。

備 考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(22) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango, Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦年 Calendar Year								
2005	19,816	90.3	1,058,571	94.5	170,061	89.8	691,780	88.7
2006	18,507	90.6	912,027	86.2	132,448	77.9	598,040	86.4
2007	15,466	83.6	712,560	78.1	97,204	73.4	977,719	163.5
2008	14,043	90.8	656,919	92.2	30,722	90.9	867,490	88.7
2009	11,472	81.7	503,365	76.6	73,681	83.3	746,538	86.1
2010	11,659	101.6	515,721	102.5	80,701	109.5	859,244	115.1
2009 —								
1	876	79.5	27,931	71.7	5,428	72.3	70,227	123.9
2	1,033	79.5	48,523	73.7	5,994	82.2	80,196	85.9
3	999	77.9	43,968	67.2	6,664	83.7	70,816	90.2
4	987	82.2	43,957	76.6	6,766	85.0	70,733	95.1
5	935	77.8	39,715	71.2	5,162	80.9	49,997	86.9
6	1,009	79.9	45,800	69.5	6,492	69.4	59,496	103.4
7	958	80.9	40,343	75.2	6,448	85.4	62,673	73.8
8	853	83.0	37,632	80.5	5,642	106.4	42,766	64.2
9	963	83.3	44,281	80.7	6,077	81.9	53,568	53.4
10	944	84.1	40,356	80.7	6,027	77.1	57,802	93.0
11	978	86.8	47,618	89.2	6,920	86.8	66,104	94.5
12	937	86.9	43,241	88.1	6,061	102.9	61,841	111.2
2010 —								
1	834	95.2	31,911	114.2	5,989	110.3	64,521	91.9
2	939	90.9	46,194	95.2	6,366	106.2	68,288	85.2
3	965	96.6	43,859	99.8	7,813	117.2	75,704	106.9
4	997	101.0	44,458	101.1	7,506	110.9	86,802	122.7
5	981	104.9	42,508	107.0	6,642	128.7	70,454	140.9
6	1,103	109.3	44,160	96.4	7,316	112.7	72,395	121.7
7	1,014	105.8	44,163	109.5	7,146	110.8	63,858	101.9
8	901	105.6	39,856	105.9	7,022	124.4	60,415	141.3
9	962	99.9	41,925	94.7	6,925	114.0	64,965	121.3
10	995	105.4	46,366	114.9	5,807	96.3	78,060	135.0
11	1,004	102.7	45,283	95.1	6,553	94.7	68,940	104.3
12	966	103.1	45,018	104.1	5,616	92.7	68,067	110.1
2011 —								
1	814	97.6	32,734	102.6	5,452	91.0	61,927	96.0
2	873	93.0	42,369	91.7	6,027	94.7	60,552	88.7
3	902	93.5	41,784	95.3	6,898	88.3	56,128	74.1
4	989	99.2	44,774	100.7	6,507	86.7	59,998	69.1
5	840	85.6	39,714	93.4	6,096	91.8	62,562	88.8
6	911	82.6	41,785	94.6	6,072	83.0	60,832	84.0
7	834	82.2	43,509	98.5	5,399	75.6	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	6,064	86.4	49,057	81.2
9	788	81.9	38,639	92.2	5,394	75.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,116	84.4	5,589	90.8	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	85.5	62,567	90.8

資料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は社団法人日本生糸問屋協会調査。

備考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash linings are included in sash production.

(23) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing & footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
年月 Year & Month												
暦年Calendar Year												
2004	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7
2005	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2009 - 7	285,078	▲ 2.0	11,873	▲ 12.7	209	▲ 38.1	3,871	▲ 15.6	3,029	▲ 15.8	1,299	▲ 3.3
8	290,972	2.6	8,882	▲ 10.2	368	▲ 51.7	2,820	▲ 9.2	2,185	▲ 2.2	907	▲ 14.1
9	277,110	1.0	9,651	▲ 2.5	215	▲ 2.4	3,273	▲ 8.4	2,141	2.1	932	3.3
10	287,789	1.6	12,287	▲ 2.3	75	▲ 80.8	4,685	0.1	2,705	1.0	1,220	9.3
11	284,740	2.2	13,698	▲ 4.3	236	50.0	5,558	▲ 7.8	2,512	▲ 4.3	1,392	▲ 6.0
12	337,887	2.1	14,546	8.7	344	▲ 0.3	5,750	9.2	2,678	11.0	1,656	7.7
2010 - 1	291,918	1.7	12,997	▲ 3.7	102	▲ 69.3	5,969	▲ 3.4	2,383	▲ 6.2	1,045	2.4
2	261,918	▲ 0.5	9,325	6.1	440	167.8	4,012	4.9	1,678	0.1	717	3.4
3	319,991	4.4	13,147	▲ 1.1	235	▲ 55.3	6,289	1.3	2,116	4.9	860	3.2
4	299,996	▲ 0.7	10,703	▲ 13.1	116	▲ 67.9	4,110	▲ 8.2	2,123	▲ 12.3	817	▲ 14.7
5	280,714	▲ 0.7	12,049	▲ 2.7	124	▲ 31.6	4,097	▲ 5.7	2,834	4.1	1,079	4.0
6	276,494	0.5	11,514	▲ 0.9	77	▲ 34.5	3,902	1.2	2,746	▲ 4.8	1,112	▲ 0.9
7	285,274	1.1	12,273	4.4	755	261.6	3,878	1.2	3,022	0.3	1,266	▲ 0.8
8	293,361	1.7	8,718	▲ 1.0	174	▲ 52.6	2,946	5.0	2,094	▲ 3.3	960	7.5
9	275,367	0.0	9,165	▲ 4.1	395	84.4	3,074	▲ 5.9	1,915	▲ 9.4	916	0.4
10	287,433	▲ 0.4	12,763	5.1	238	215.7	5,000	7.5	2,642	▲ 0.9	1,305	9.3
11	284,212	▲ 0.4	12,530	▲ 7.8	221	▲ 6.7	5,025	▲ 9.6	2,385	▲ 3.4	1,310	▲ 5.1
12	327,006	▲ 3.3	12,802	▲ 11.3	69	▲ 79.9	5,205	▲ 9.5	2,280	▲ 13.2	1,435	▲ 12.8
2011 - 1	289,191	▲ 1.0	12,521	▲ 3.7	120	17.2	5,405	▲ 8.1	2,749	6.1	1,135	9.3
2	260,793	▲ 0.2	8,720	▲ 6.7	282	▲ 36.0	3,802	▲ 5.0	1,445	▲ 12.3	735	2.5
3	291,900	▲ 8.9	11,013	▲ 16.0	451	92.1	5,014	▲ 19.8	1,772	▲ 15.4	773	▲ 10.2
4	292,559	▲ 3.0	11,212	5.0	92	▲ 20.2	4,183	2.3	2,398	14.0	900	10.0
5	276,159	▲ 1.2	11,906	▲ 0.7	49	▲ 60.7	4,099	0.4	2,789	▲ 1.1	1,158	7.6
6	265,807	▲ 3.5	11,384	▲ 0.6	113	44.8	3,620	▲ 7.0	2,907	5.5	1,234	11.8
7	280,046	▲ 2.1	12,078	▲ 1.9	281	▲ 63.3	4,068	4.0	3,103	1.9	1,329	6.1
8	282,008	▲ 4.1	8,921	1.8	456	159.0	2,693	▲ 9.6	2,059	▲ 2.8	943	▲ 0.5
9	270,010	▲ 1.9	8,709	▲ 5.0	221	▲ 44.4	2,966	▲ 3.7	1,895	▲ 1.6	863	▲ 5.1
10	285,605	▲ 0.4	13,099	2.3	625	161.8	5,023	▲ 0.2	2,790	4.8	1,201	▲ 7.4
11	273,428	▲ 3.2	13,230	5.6	490	122.6	5,026	0.1	2,649	10.0	1,280	▲ 1.1

資料：総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考：「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source: Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks: Clothing & footwear includes Japanese clothing, clothing, shirts & sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
日本	Japan	トン 626	トン 505	トン 433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
日本	Japan	トン 382	トン 327	トン 265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド織維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%) (MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%) (MT, %)		
		2008	2009	対前年比 2009/08	2008	2009	対前年比 2009/08
山 西	Shanxi	6,033	4,046	67	64	266	416
河 北	Hebei	1,000	1,200	120	-	-	-
江 蘇	Jiangsu	95,476	73,175	77	20,450	17,800	87
浙 江	Zhejiang	64,319	45,600	71	17,950	15,000	84
安 徽	Anhui	33,400	24,800	74	5,500	5,200	95
江 西	Jiangxi	10,015	7,602	76	2,570	2,900	113
山 東	Shandong	34,530	23,900	69	5,530	5,800	105
河 南	Henan	11,641	10,101	87	2,800	2,100	75
湖 北	Hubei	21,200	17,150	81	332	555	167
湖 南	Hunan	4,300	3,182	74	58	104	179
広 東	Guangdong	70,693	53,321	75	1,513	1,722	114
広 西	Guangxi	170,900	172,900	101	14,069	16,237	115
重 慶	Chongqing	22,110	17,311	78	5,497	4,200	76
四 川	Sichuan	68,576	70,000	102	16,400	14,900	91
貴 州	Guizhou	3,626	2,751	76	23	105	457
雲 南	Yunnan	40,348	30,230	75	2,871	2,237	78
陝 西	Shaanxi	23,800	17,200	72	2,868	3,263	114
甘 肅	Gansu	420	253	60	-	-	-
寧 夏	Ningxia	520	126	24	30	-	-
新 疆	Xinjiang	480	450	94	30	-	-
内 蒙 古	Inner Mongolia	-	-	-	65	66	102
合 計	Total	683,387	575,298	84	98,620	92,455	94

製糸工場数 (件) Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン)(Unit: 10,000ton)

地域	Area	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	前年比 09/08(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	100.0
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	66.7
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai							0.0	0.0					
江 蘇	Jiangsu	8.5	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	76.8
浙 江	Zhejiang	10.4	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	71.9
安 徽	Anhui	2.5	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	75.8
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	80.0
山 東	Shandong	4.2	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	68.6
河 南	Henan	0.6	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	83.3
湖 北	Hubei	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	81.0
湖 南	Hunan	0.1			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	75.0
広 東	Guangdong	2.1	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.4	76.1
広 西	Guangxi	1.8	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	101.2
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	77.3
四 川	Sichuan	9.3	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	101.4
貴 州	Guizhou	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	75.0
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	75.0
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	70.8
甘 肅	Gansu							0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia							0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	47.5	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	84.2

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類（生糸・絹糸・絹織物）の輸出状況

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2010年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2010年実績	10/09(%)	2010年実績	10/09(%)
1 インド	India	5,316,040	80.92	210,292	124.18
2 ベトナム	Vietnam	687,800	183.10	27,625	256.92
3 韓国	South Korea	524,545	97.95	21,201	138.58
4 ルーマニア	Romania	508,559	198.80	20,229	281.97
5 日本	Japan	483,704	107.01	20,302	155.15
6 イタリア	Italy	347,761	135.80	14,853	195.92
7 バングラデッシュ	Bangladesh	166,676	109.79	6,230	164.02
8 パキスタン	Pakistan	85,423	48.10	3,128	68.19
9 ミャンマー	Myanmar	78,785	119.99	3,028	189.93
10 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	66,758	229.30	2,502	279.12
11 その他	Others	242,599	59.43	9,458	100.53
合計	Total	8,508,650	92.21	338,848	139.15

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2011年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	4,114,330	77.39	209,055	99.41
2 ルーマニア	Romania	728,603	143.27	38,055	188.12
3 ベトナム	Vietnam	624,467	90.79	30,709	111.16
4 韓国	South Korea	466,392	88.91	24,529	115.70
5 日本	Japan	402,960	83.31	22,568	111.16
6 イタリア	Italy	312,007	89.72	17,274	116.30
7 バングラデッシュ	Bangladesh	88,325	52.99	4,362	70.01
8 ミャンマー	Myanmar	82,273	104.43	4,205	138.86
9 ブラジル	Brazil	44,245	100.00	2,354	100.00
10 パキスタン	Pakistan	40,709	47.66	1,967	62.88
11 その他	Others	217,448	70.29	11,646	97.37
合計	Total	7,121,759	83.70	366,724	108.23

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2010年実績	10/09(%)	2010年実績	10/09(%)
1 インド	India	1,697,386	68.52	68,000	106.57
2 日本	Japan	632,473	106.00	26,847	146.56
3 イタリア	Italy	534,502	129.60	22,832	182.77
4 パキスタン	Pakistan	476,671	102.63	19,600	148.45
5 ドイツ	Germany	202,213	68.30	7,535	80.81
6 韓国	South Korea	189,531	93.82	7,847	132.48
7 タイ	Thailand	150,802	171.12	6,384	241.18
8 シリア	Syria	87,563	516.50	0,376	564.61
9 インドネシア	Indonesia	86,871	110.16	3,364	160.01
10 ベトナム	Vietnam	55,208	97.92	2,225	157.13
11 その他	Others	258,693	108.99	10,760	155.24
合計	Total	4,371,913	88.74	175,770	129.03

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	869,361	51.22	44,614	65.61
2 日本	Japan	653,654	103.35	37,423	139.39
3 イタリア	Italy	531,110	99.37	30,546	133.79
4 パキスタン	Pakistan	269,373	56.51	14,021	71.53
5 ドイツ	Germany	200,792	99.30	10,260	136.17
6 韓国	South Korea	182,339	96.21	9,758	124.35
7 タイ	Thailand	135,954	90.15	7,874	123.34
8 インドネシア	Indonesia	94,087	108.31	4,865	144.63
9 マレーシア	Malaysia	33,138	60.02	1,702	76.47
10 ベトナム	Vietnam	31,400	95.95	1,603	106.34
11 その他	Others	182,519	58.21	8,392	87.15
合計	Total	3,183,727	72.82	171,058	97.32

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2010年実績	10/09(%)	2010年実績	10/09(%)
1 インド	India	56,715,405	86.28	194,688	121.16
2 パキスタン	Pakistan	52,802,642	116.96	133,167	149.68
3 イタリア	Italy	49,555,469	136.42	173,431	164.48
4 香港	Hong Kong	17,082,170	99.57	90,484	120.59
5 韓国	South Korea	15,521,720	91.28	70,217	110.96
6 日本	Japan	11,648,919	102.17	39,907	133.54
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	8,469,624	92.62	31,330	109.83
8 マレーシア	Malaysia	7,832,855	85.90	38,012	125.04
9 シンガポール	Singapore	7,482,141	72.13	30,155	82.34
10 アメリカ	United States	6,024,523	110.33	35,272	117.48
11 その他	Others	40,723,405	115.50	155,883	133.41
合計	Total	273,858,873	104.48	992,546	129.62

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 パキスタン	Pakistan	49,142,622	93.07	162,071	121.71
2 イタリア	Italy	33,520,431	67.64	185,559	106.99
3 インド	India	32,139,948	56.67	144,785	74.37
4 韓国	South Korea	14,649,985	85.76	101,387	112.05
5 香港	Hong Kong	13,900,523	89.56	83,993	119.62
6 日本	Japan	10,567,943	90.72	46,593	116.75
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	7,508,512	88.65	37,343	119.20
8 マレーシア	Malaysia	6,361,626	81.22	37,976	99.90
9 米国	United States	6,247,924	103.71	44,198	125.30
10 チュニジア	Tunisia	6,132,107	115.84	11,006	140.29
11 その他	Others	37,726,968	87.92	203,149	114.01
合計	Total	217,898,589	79.57	1,058,060	106.60

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額 (億元) Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collectiv e-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collectiv e-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	8,255.8	6,172.6	1,210.6	672.7	21.8	17.4	15.6	42.2
1996年	9,249.4	6,893.3	1,269.4	801.7	12.0	11.7	4.9	19.2
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.0	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1

資料：中国統計年鑑(2011)

Source: China Statistical Yearbook 2011

(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)							
					名目賃金 Average Wage				実質賃金 Average Real Wage			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	5,348	5,553	3,934	7,728	18.9	17.3	21.1	19.9	1.8	0.4	3.7	2.6
1996年	5,980	6,207	4,312	8,521	11.8	11.8	9.6	10.3	2.8	2.7	0.7	1.3
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7

中国統計年鑑2011 Source: China Statistical Yearbook 2011

(8)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	6,884	7,498	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717
採掘業 Mining	13,627	16,774	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196
製造業 Manufacturing	12,671	14,251	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	18,574	21,543	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309
建築業 Construction	11,328	12,578	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	15,753	18,071	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466
情報通信コンピューターサービ ス Information Transmission, Computer Service and Software	30,897	33,449	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	10,894	13,012	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	11,198	12,618	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382
金融業 Financial Intermediation	20,780	24,299	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146
不動産業 Real Estate	17,085	18,467	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	17,020	18,723	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	20,442	23,351	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	11,774	12,884	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	12,665	13,680	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206
教育 Education	14,189	16,085	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	16,185	18,386	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	17,098	20,522	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	15,355	17,372	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242
合計 Total	13,969	15,920	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539

(出所)中国統計年鑑2011

Source: China Statistical Yearbook 2011

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
製造業 Manufacture	184,236	192,389	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908
合計 Total	203,109	214,920	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007
年別人民元yuan/円yenレート	14.54	13.50	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00

(9) 中国省別従業員年平均賃金(2010年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region		年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)	
北	京	Beijing	65,158	847,054	178.32
天	津	Tianjin	51,489	669,357	140.92
河	北	Hebei	31,451	408,863	86.08
山	西	Shanxi	33,057	429,741	90.47
内	蒙	Inner Mongolia	35,211	457,743	96.37
遼	寧	Liaoning	34,437	447,681	94.25
吉	林	Jilin	29,003	377,039	79.38
黒	龍	Heilongjiang	27,735	360,555	75.91
上	海	Shanghai	66,115	859,495	180.94
江	蘇	Jiangsu	39,772	517,036	108.85
浙	江	Zhejiang	40,640	528,320	111.22
安	徽	Anhui	33,341	433,433	91.25
福	建	Fujian	32,340	420,420	88.51
江	西	Jiangxi	28,363	368,719	77.62
山	東	Shandong	33,321	433,173	91.19
河	南	Henan	29,819	387,647	81.61
湖	北	Hubei	31,811	413,543	87.06
湖	南	Hunan	29,670	385,710	81.20
広	東	Guangdong	40,432	525,616	110.65
広	西	Guangxi	30,673	398,749	83.95
海	南	Hainan	30,775	400,075	84.23
重	慶	Chongqing	34,727	451,451	95.04
四	川	Sichuan	32,567	423,371	89.13
貴	州	Guizhou	30,433	395,629	83.29
雲	南	Yunnan	29,195	379,535	79.90
西	蔵	Tibet	49,898	648,674	136.56
陝	西	Shaanxi	33,384	433,992	91.37
甘	肅	Gansu	29,096	378,248	79.63
青	海	Qinghai	36,121	469,573	98.86
寧	夏	Ningxia	37,166	483,158	101.72
新	疆	Xinjiang	32,003	416,039	87.59
全国平均		Average	36,539	475,007	100.00

(出所) 中国統計年鑑2011 Source: China Statistical Yearbook 2011

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(10)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
 Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1988/89	11,470
1989/90	15,829
1990/91	17,221
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11 [見込み] [Estimate]	3,161 (71%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1988	1,748,996	29,150
1989	1,696,622	28,277
1990	1,693,206	28,220
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	770,000 (95%)	12,833
2011 [見込み] [Estimate]	557,000 (72%)	9,283

資料: ブラジル製糸協会

注: ()内は対前年比

[]内の見込みは2011年2月現在

Source: ABRASSEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of February 2011.

(11) ブラジルの繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況(総括表)

Production, Import and Export of Raw Silk, Twisted Silk and Silk Fabrics in Brazil (Summary)

年次 Year	生産 Production	年次 Year	輸入 Import	年次 Year	輸出 Export
	生繭Wet Cocoon (ton)		乾繭Dry Cocoon (kg)		乾繭Dry Cocoon (kg)
94/95	16,260	95	82,000	95	101,095
95/96	15,368	96	14,000	96	68,760
96/97	14,811	97	-	97	341,000
97/98	14,594	98	-	98	569,200
98/99	10,305	99	-	99	60,000
99/00	8,473	00	-	00	-
00/01	9,916	01	1,890	01	73,600
01/02	10,238	02	-	02	220,483
02/03	9,966	03	-	03	118,574
03/04	8,005	04	-	04	47,350
04/05	7,146	05	5,000	05	12,326
05/06	8,051	06	-	06	4,030
06/07	8,617	07	-	07	72,000
07/08	6,266	08	-	08	-
08/09	4,835	09	-	09	1,000
09/10	4,439	10*	-	10*	1,000
年次 Year	生糸 Raw Silk (ton)	年次 Year	生糸Raw Silk (kg)	年次 Year	生糸と撚糸 Raw Silk and Twisted Silk (kg)
95	2,468	95	1,700	95	2,321,040
96	2,270	96	6,200	96	2,174,636
97	2,120	97	1,100	97	1,892,930
98	1,821	98	1,080	98	1,678,193
99	1,554	99	863	99	1,742,670
00	1,389	00	43,653	00	1,474,225
01	1,485	01	51,822	01	1,287,693
02	1,607	02	29,524	02	1,415,284
03	1,563	03	27,493	03	1,488,333
04	1,512	04	11,943	04	1,353,551
05	1,285	05	27,571	05	1,129,838
06	1,387	06	47,455	06	1,173,284
07	1,220	07	67,686	07	1,150,297
08	1,177	08	124,831	08	994,801
09	811	09	76,478	09	866,759
10	770	10*	40,000	10*	643,000
年次 Year	絹織物Silk Fabrics (ton)	年次 Year	絹織物Silk Fabrics (kg)	年次 Year	絹織物Silk Fabrics (kg)
95	128	95	168,500	95	8,000
96	53	96	129,900	96	200
97	56	97	119,600	97	550
98	97	98	55,300	98	121
99	74	99	47,900	99	2,472
00	106	00	54,701	00	488
01	106	01	63,241	01	2,699
02	163	02	44,664	02	332
03	167	03	54,282	03	1,068
04	177	04	91,078	04	2,429
05	210	05	182,725	05	9,090
06	146	06	117,426	06	16,405
07	162	07	102,906	07	26,698
08	159	08	150,837	08	4,217
09	112	09	124,192	09	2,773
10*	101	10*	110,000	10*	3,000

資料:ブラジル製糸協会

注:*印は見込み数値

Source: ABRASSEDA

Note:*Forecast

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2012年3月号 NO.23 平成24年3月1日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館5階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず